

令和7年度

千代田区
町会活動に関するアンケート
報告書 青年部編

本調査のデータは令和7年9月5日の締切時点での集計によるものです。

目次

I. アンケートまとめ	1
(1) 現状	1
(2) 課題	2
(3) 今後の方向性.....	3
(4) 行政への期待・支援策への要望.....	4
II. アンケート結果（青年部長）	6
1. アンケート調査概要	6
2. アンケート結果.....	8
(1) 青年部の組織体制	8
(2) 青年部の運営	14
(3) 青年部の地域活動.....	21
(4) 町会活動の課題やこれから	26
(5) 行政との関係	32
3. 青年部アンケート自由回答まとめ	37
(1) 問 18「活動を通して感じたよかったこと」	37
(2) 問 19「青年部等の負担が大きいもの」	39
(3) 問 20「これから実施してみたい取組み・活動内容」	42
(4) 問 35「青年部の現状、課題、今後の活性化に向けて必要だと思うこと、必要な支援、また町会の全般について、現状やこれから、必要な行政の支援策」 ...	44

資料 ①集計結果

②アンケート票

1. アンケートまとめ

(1) 現状

【青年部の組織】

- ・ 部や委員会を設置しているのが7割超。青年部のない町会も1割程度ある。(図表 1)
- ・ 青年部長は50歳代が多い(4割弱)。60歳代以上の町会も2割弱。(図表 2) また、約半数が会社員・公務員であり、3割強が自営となっており現役世代がほとんど。(図表 3)
- ・ 区全体でみると、活動者のボリュームゾーンは40～50歳代(合わせて6割強)(図表 6)。各町会の青年部の加重平均をみると45歳～50歳未満が最も多いが、55～60歳未満の町会も2割弱ある。青年部とはいえ、20～30歳のメンバーは少なく、主力メンバーの年齢は高めといえる。(図表 7)
- ・ 所属メンバー数は区全体の平均は約10名であったが、20～40人となっている町会もあった。自由回答において、所属メンバーは多くても、実質の稼働はコアの数名だけという声も散見された。
- ・ また、メンバーの中には区外居住者が多い。活動者は町内居住者だけの町会は18.5%。逆に町内居住者数の割合が5割未満の町会は、半数以上となっている。居住者以外のメンバーに、一定程度支えられていることがわかる。(図表 8)
- ・ 男女比をみると、男性のみの町会は36.8%。8～10割未満が45.6%であり、男性中心の組織であることがうかがえる。(図表 9)
- ・ デジタル活用は進んでおり、青年部メンバー間の情報共有はSNS・LINE利用率が高い(90.1%)(図表 11)。また、デジタル化したいものとして「イベント申込」が挙げられており、イベントの実働部隊ならではといえる。(図表 15)
- ・ 運営の工夫として、「他の町会、地域活動の人と交流するようにしている」は59.7%。(図表 14)
- ・ アンケートの自由回答では、青年部の活動としてよかったこととして、「地域の知り合い・仲間ができた」「地域の人の人脈づくり」に関するものが多かった。青年部の活動を通してのつながりが私生活やビジネス面でのメリットがあるとされていた。また、伝統の継承に関われることをよかったこととして挙げる人もみられた。

【青年部の活動】

- ・ 主な青年部の活動は、祭礼、イベント、懇親会、イベントなどでの買い出しが上位。防災訓練や防犯パトロールも6割弱。それぞれ項目に「関わっていると」答えている町会も多いことから、青年部の多忙さがうかがえる(図表 18)。

- ・ 自由回答では、青年部独自に企画して新しい活動をしてみたいという声がある一方、これ以上の負担を増やしたくないという声もあった。
- ・ 今後連携したい団体としては、「事業所・企業」「マンションの管理組合・自治会」が上位。「大学・高等学校」、「NPO」「ボランティア団体」「地縁によらない活動団体」は、町会長に比べわずかであるが、回答割合が高い。イベントなどの実働部隊として、学生や他団体の手伝い、他団体の協力を求めていることがうかがえる。(図表 22)
- ・ 子どもイベントに重視している傾向もあり、子どもが参加することで、その保護者との接点を持ち、町会加入、参画へと誘導したいという意図による。

【祭礼】

- ・ 祭礼は青年部としても、力を入れている行事。(図表 19) また、「地域の重要な課題」としても、「祭礼文化の継承 (66.2%)」がトップ。(図表 23) 町会の存在意義としても「祭礼文化を継承していくこと (57.7%)」がトップとなっている。(図表 24) 青年部としても、祭礼が活動として重要なものとして位置づけられている。
- ・ また、祭礼に参加することは、青年部長として「喜び・充実を感じている (23.9%)」「喜びや充実感をやや強く感じている (18.3%)」となっている。婦人部と比較すると喜びと充実を感じる割合が高くなっている。負担は大きいものの、青年部としてやりがいを感じられる行事であると言える。(図表 30)

(2) 課題

【運営面】

- ・ 青年部の運営上の課題としては、「若手がない (76.1%)」「メンバーが増えない (60.6%)」が上位。(図表 12) また、現役世代のため「仕事の調整や活動時間の確保が難しい」は 50.7%が回答。自由回答でも「仕事との兼ね合い」「子どもが小さい人などはプライベートとの兼ね合い」を課題とする声もあった。
- ・ 活動の担い手の固定化は 59.2%。自由回答でも、「全体として人数が少ない」「忙しい人が多いため結局一部の人に偏りがちである」という声もあった。
- ・ さらに、青年部の活動そのものに対して「多くの時間を費やすこと」「中には平日の稼働も必要とされてる」も指摘されている。また、「部全体の年齢が上がってきて活動がきつい」「商店や自営の人がメンバーとして減ってくるなかで自由度が下がってきている」という声もあった。さらに、町会役員の年齢が上がってきており、そのことから比較的動ける青年部の仕事が増えるといった構造にもなっている指摘もあった。
- ・ また、町会長や婦人部・女性部に比べ「法人会員」への期待は大きいことがうかがえる。住んでいる人が少ない地域では、特に実働部隊としての人手の期待も大きいと思われる。

- ・ 町会内のデジタル化の意欲はあると言えるが、「会員間でのデジタル化への対応能力が課題」とされている。その他の回答として、「支払いのデジタル化の取得が難しい」ため区の主導を望む声もあった。(図表 15、図表 16)

【活動の課題】

- ・ 青年部の活動では、祭礼やイベントに力を入れていると回答されているが、一方で負担も大きいと回答。(図表 19) 自由回答でも、祭礼の負担に関する意見は多い。
- ・ 活動全体としても「運営スタッフがない (63.4%)」「人数が少ない中で運営しているので負担が大きい (59.2%)」が上位。イベントの実働部隊として、「イベントのコスト」「場所」「道路使用や衛生管理等の申請手続きが大変」も 2～3 割回答。(図表 20)
- ・ 自由回答においても、人手不足や青年部への過度の負担についての意見が散見された。

【祭礼】

- ・ 祭礼文化の継承の課題としては、「継承する次の世代がない (53.5%)」「役割を分担できる人が少ない、またはいない (39.4%)」「お祭りの段取りをしている人が少ない・またはいない (36.6%)」と上位。(図表 26) 青年部の人手不足、担い手不足が課題となっている中、祭礼についても人手、次世代の担い手に影響がある。
- ・ 祭礼の今後について、祭礼に参加できるか不安と感じている割合は、「不安」「やや不安」を合わせ 7 割程度。人手などの「祭礼に参加できなくなる」という回答を含めると約 8 割の人が将来の祭礼参加を懸念している。(図表 28) 小規模町会、中規模町会では、祭礼に参加できなくなるという危機感を持つ町会も 1 割程度あった。(図表 29)

(3) 今後の方向性

- ・ これからの青年部の活動としては「仕事や暮らしの状況に合わせて参加できる (62.0%)」「世代を問わず参加できる (56.3%)」「地区の若い世代のつながりの核となる (54.9%)」「他の町会とも活発に交流する (47.9%)」。(図表 17)
- ・ 青年部は、町会活動の大きな核であり、活発に活動することが重要という意識がみられ、今後もこの考えは踏襲されているものと思われる。
- ・ その点からも、活動できる部員を増やすことは必須となっている。現実的には、青年部の高齢化も進んでおり、20～30 歳代の確保が必要とされているものの、町会に対する意識の変化、かつての町会の中心メンバーだった商売している人が減ってきている中で、さらに社会変化として家庭との両立が重要とされる中、町会と同様に、今後のあり方が問われる。

- ・ また、青年部が区域外の居住者の割合が高いことを踏まえると、防災と言った事態においては、脆弱性が否めない。
- ・ 自由回答では、企業への活動参加を求める声も多い。町会において、法人会員も重要なメンバーであるとの立ち位置の明確化や、地域コミュニティの持続性のためには、特定の町会に囲い込むだけでなく、広域的な視野に立って多様な人や企業が地域に参画できる仕組みが必要との声もあった。

(4) 行政への期待・支援策への要望

- ・ 「町会と行政との協働をもっと進めるべき」「行政はもっと支援すべき」との回答は共に 8 割程度。(図表 31)
- ・ 行政に求める支援としては、「各種事業実施に対する財政的な支援 (53.5%)」「区への事務手続きの簡略化 (22.5%)」「町会と他の団体や事業者との協力・協働のコーディネート (21.1%)」。他団体との協力・協働のコーディネートが上位であることは、町会長、婦人部・女性部の結果と比べ特徴である。(図表 34)
- ・ 自由回答による具体的な支援ニーズは以下の通り。
- ・ **財政的支援**：イベントの活動支援の補助対象の拡大（イベント以外への拡充）、イベントが多い町会ほど負担になるという意見も多く補助回数や補助額の増額などの意見があった。
- ・ **デジタル化支援**：ペーパーレス化の支援、ハードだけでなくランニングコストに対する助成など。
- ・ **申請手続きの支援**：青年部に負担が集中する中で、警察、消防などの申請手続きの支援があるだけでも助かるという声もあった。
- ・ **企業との連携支援**：企業の町会活動への参加に対するインセンティブ（税制優遇など）
- ・ **加入促進**：町会長や婦人部同様に、部としての人材不足の中、また、町会の持続性のためにも、区への加入の強化・ルールの厳密化に対する期待は高い。(図表 35) そのため区全体としての加入促進を求める声も多い。それぞれの町会も努力や工夫をしているが、限界を感じている状況。区に対して、インセンティブをつけた町会への加入促進、町会の役割意義の啓発への期待は高い。
- ・ **ネットワーク構築支援**：他町会の青年部とのネットワークを求める声は多い。情報共有や助け合いができる関係づくり、イベントの共催等の具体的なイメージが多く挙げられていた。
- ・ **ボランティア派遣、コーディネート**：イベントなどでの人手不足があり、スポット的に学生などに手伝ってもらえると助かる。その部分のコーディネートに期待されている。アンケートの自由回答では、イベントコーディネーターを希望する声もあった。

- ・ **祭礼**：祭礼については、財政的なことよりも、時間と労力の負担についての意見が多く挙げられていた。一部、神輿の修繕費、保管庫などの要望があった。
- ・ **活動場保**：会議室や倉庫など日常の運営に必要な場所への要望が散見された。
- ・ **その他**：町会のまちの代表性のあり方、加入の意義などを区として明確にしたいという声も散見された。

II. アンケート結果（青年部長）

1. アンケート調査概要

千代田区内の全町会の青年部長を対象に、以下のアンケート調査を実施した。

目的	千代田区における町会活動について、実働部隊として中心的な活動の担い手となっている青年部へアンケートを行い、町会長とは異なる視点での現状や課題、支援のニーズ等を定量的、または自由記述で定性的に把握する。
調査名	町会活動に関するアンケート
実施期間	2025年7月29日～9月5日
対象	区内町会（107町会） 青年部長またはそれに該当する役割をしている方
実施方法	・郵送または手渡しによる送付 ・郵送回答、またはオンラインによる回答
回収数	青年部 71町会
設問項目 ※青年部、婦人部・女性部で一部設問項目や回答項目が異なる	1) 部の組織運営 ・組織体制（部の組織形態、部長年齢・職業、兼任の役職、部員の数/年齢、男女比、地区外居住者比） ・組織運営（連絡手段、運営上の課題、活動上の工夫、今後について） 2) 町会運営のデジタル化の意向、課題 3) 町会の地域活動 ・地域活動の現状（部として関わっている活動、力を入れている活動、負担の大きい活動） ・活動を通じてよかったこと、負担の大きいもの詳細、これから実施したい取組み・活動 ・町会のイベントや活動の課題 ・他組織や団体との協力・協働の今後の意向 4) 町会活動の課題 ・地域の課題、町会の役割・意義への認識、今後についての考え方 5) 祭礼文化について ・祭礼文化の継承における課題、今後の参加についての考え ・祭礼への参加の「負担感」と「喜び充実感」 6) 行政との関係

	<ul style="list-style-type: none">・行政との関係に対する考え方、行政からの依頼事項への負担感・行政がすべき支援や協力・個別支援の活用ニーズ・町会活動の会の現状やこれからについて、また町会活動の活性化や加入促進の方策、行政からの支援策について考えること（自由記述）
--	---

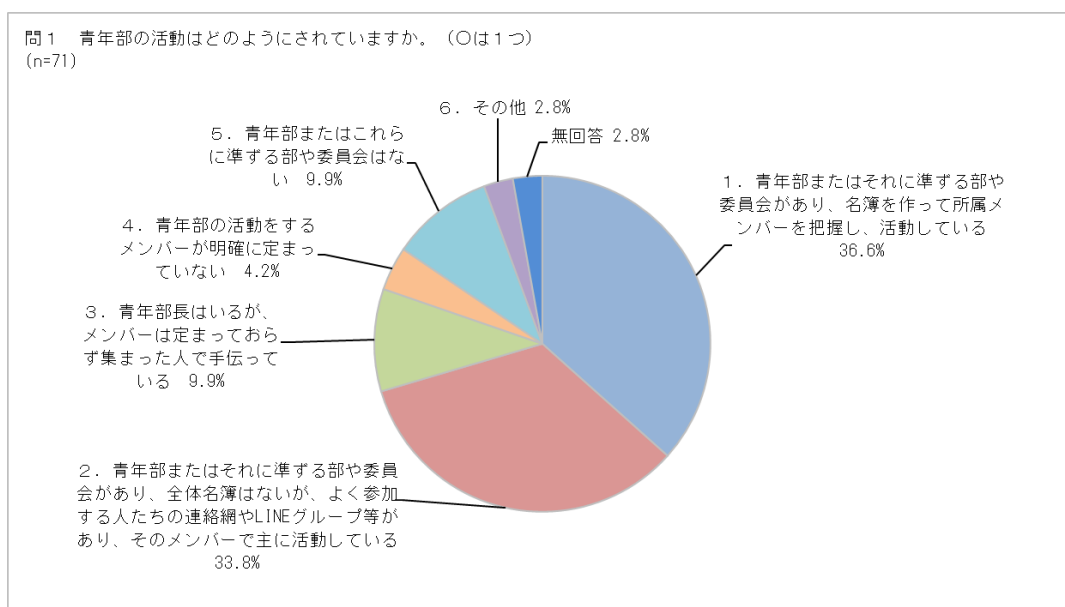
2. アンケート結果

(1) 青年部の組織体制

① 組織体制全般について

- ◇ 「部や委員会を設置している」のが7割超で、うち「名簿を作っている」のが4割弱
- ◇ 「メンバーが定まっておらず集まった人で手伝っている」ところも

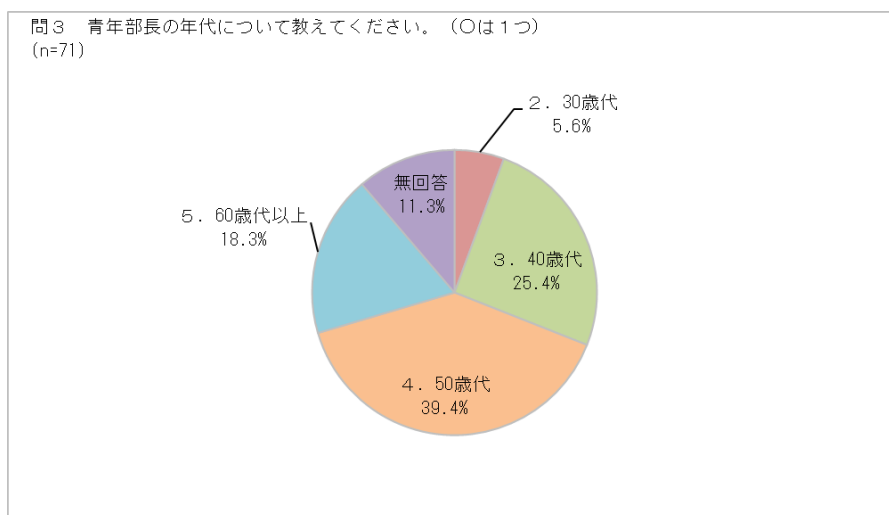
図表1 青年部の活動（単数回答）



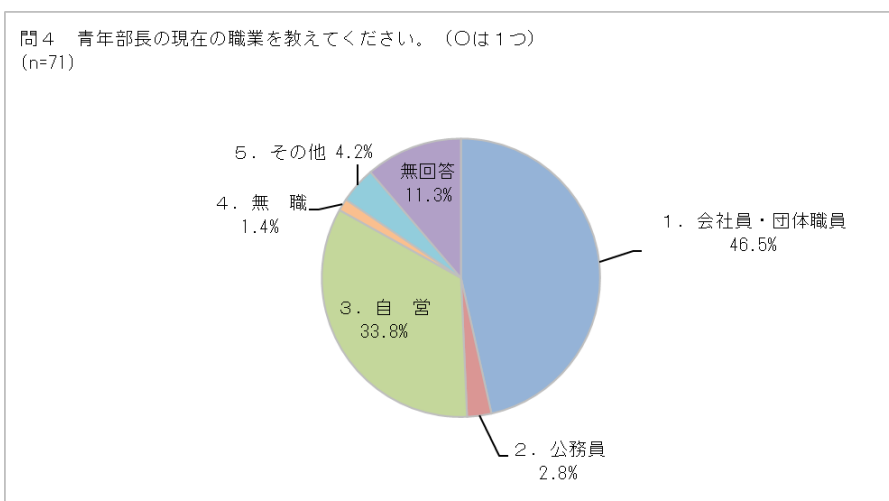
② 青年部長等について

- ◇ 「50 歳代」が 4 割で、次いで「40 歳代」が 4 分の 1、ミドル世代が中核を担っているといえるものの、「60 歳以上」が 2 割弱も
- ◇ 職業は「会社員・団体職員」が半数、「自営」が 3 割となっている。現役世代が多い

図表 2 部長の年代（単数回答）

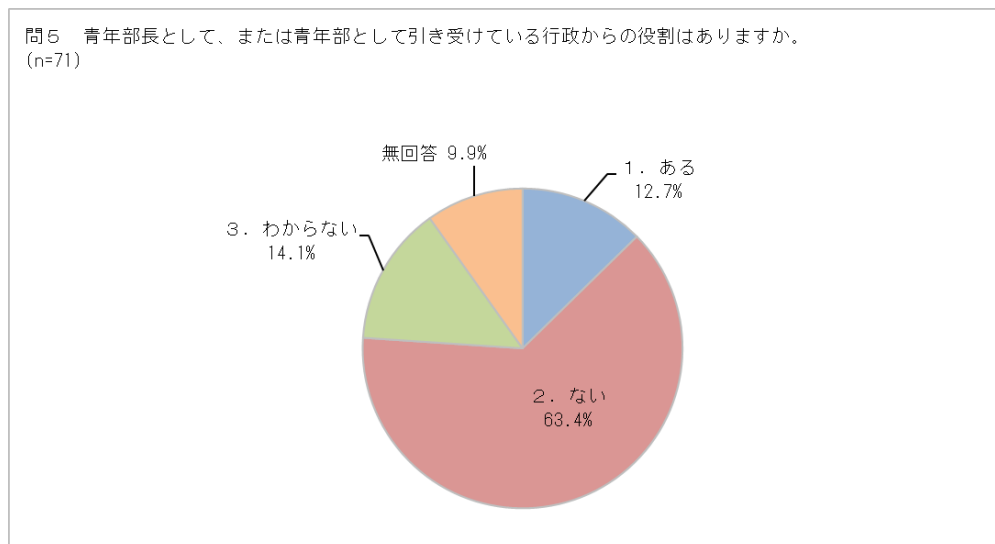


図表 3 部長の職業（単数回答）



◇行政からの役職を引き受けているのは1割にとどまり、ほとんどないことがうかがわれる

図表4 部長が引き受けている役職（単数回答）

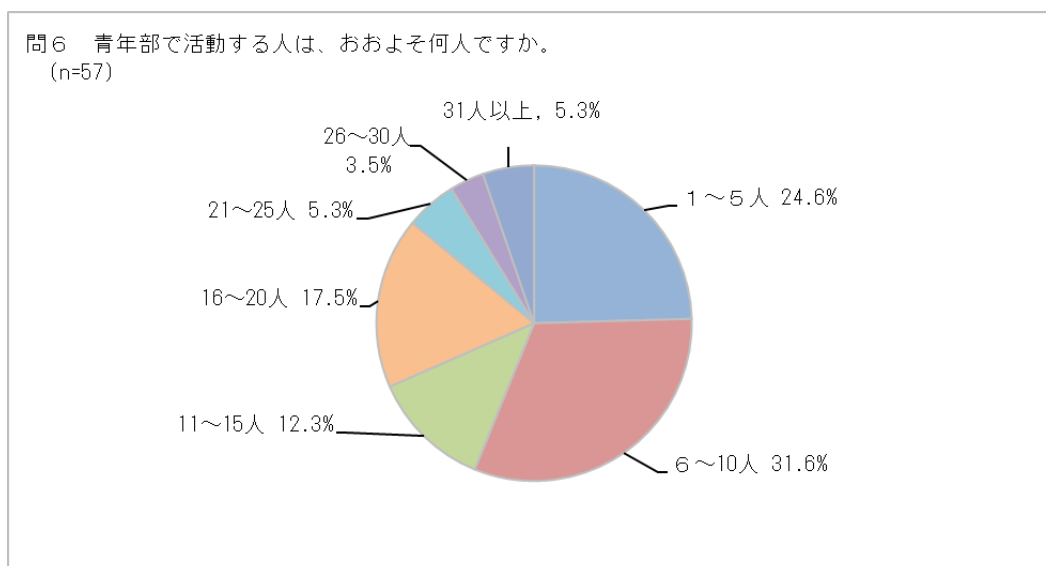


③ 活動者（部員）について

◇部で活動する人数は、全町会平均10人となっている

◇「10人以下」で活動している町会が半数以上

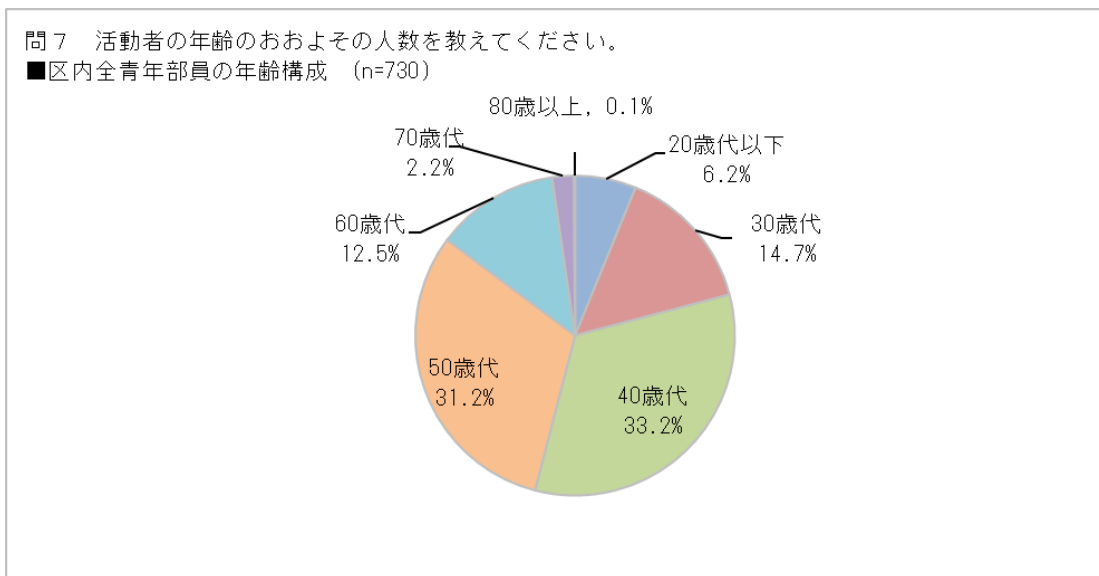
図表5 活動する人の人数



◇部員の年代構成も「40 歳代」「50 歳代」の 3 割を筆頭に 50 歳代以下で 8 割超を占めている

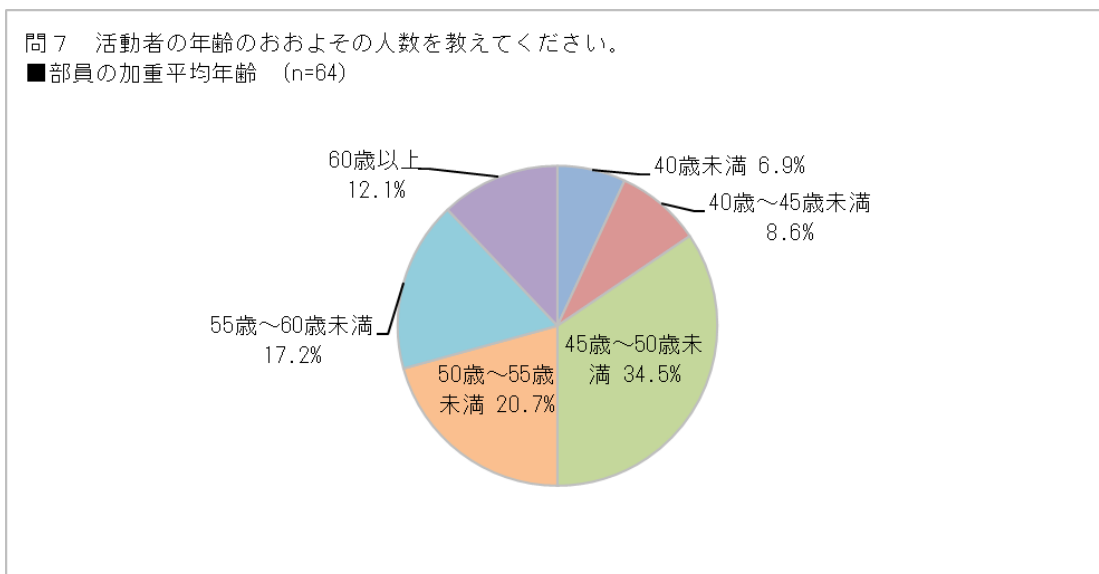
◇各町会部員の平均年齢は 45 歳～50 歳が最も多く、50 歳以下の町会が半数にのぼる

図表 6 活動者の年齢



※回答町会を対象とし、問 7 で回答した全町会のデータを母数として割合を算出した

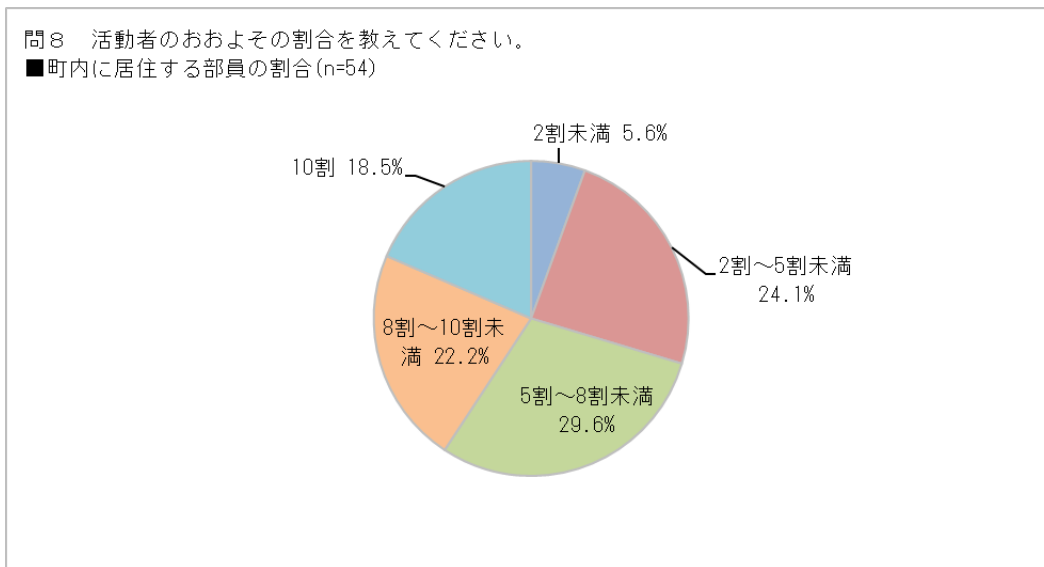
図表 7 活動者の加重平均年齢



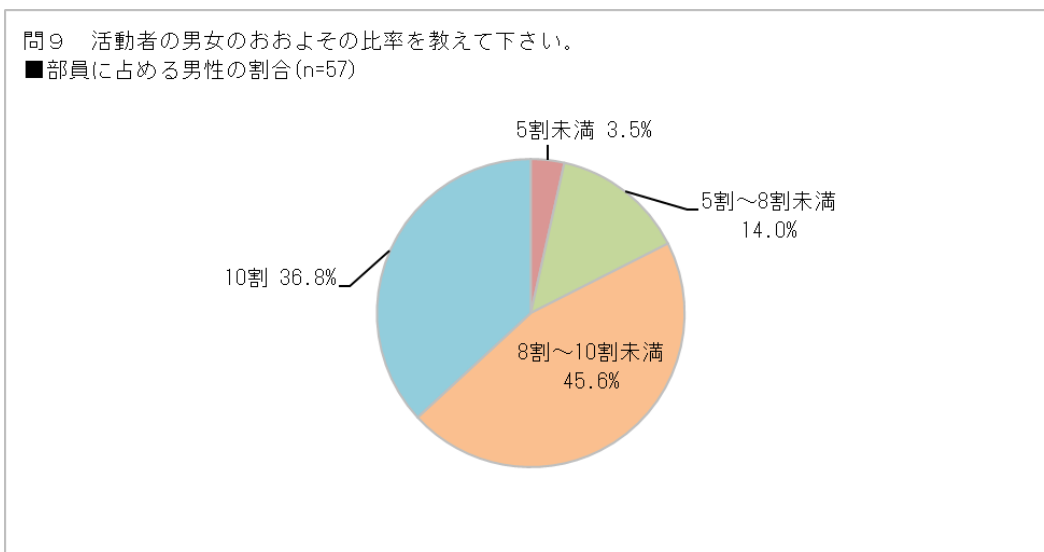
◇町内に在住する活動者の割合は、「10割」の町会は2割弱にとどまり、逆に「5割未満」が3割と、実居住者以外に一定程度支えられていることがわかる

◇活動者の男女比率は、「男性が10割」の町会が4割程度、これを含め男性が「8割以上」の町会が大半となっている

図表8 町内に在住する活動者の割合

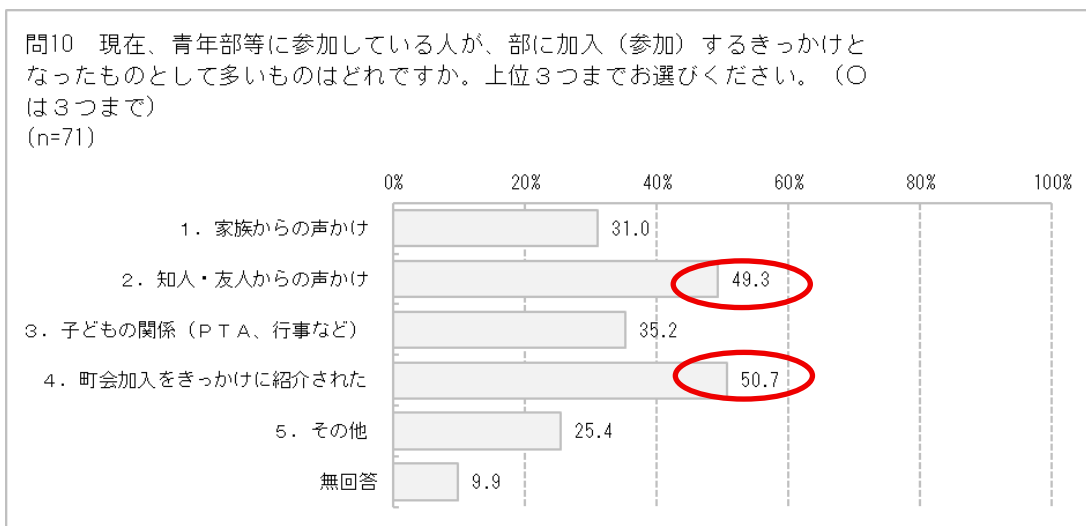


図表9 男性の割合



◇参加するきっかけは、「町会加入時の紹介」が過半と最も多く、次いで「知人・友人からの口コミ」が半数弱。自由回答では祭りの参加がきっかけという声もある

図表 10 参加のきっかけ（複数回答）



（その他）

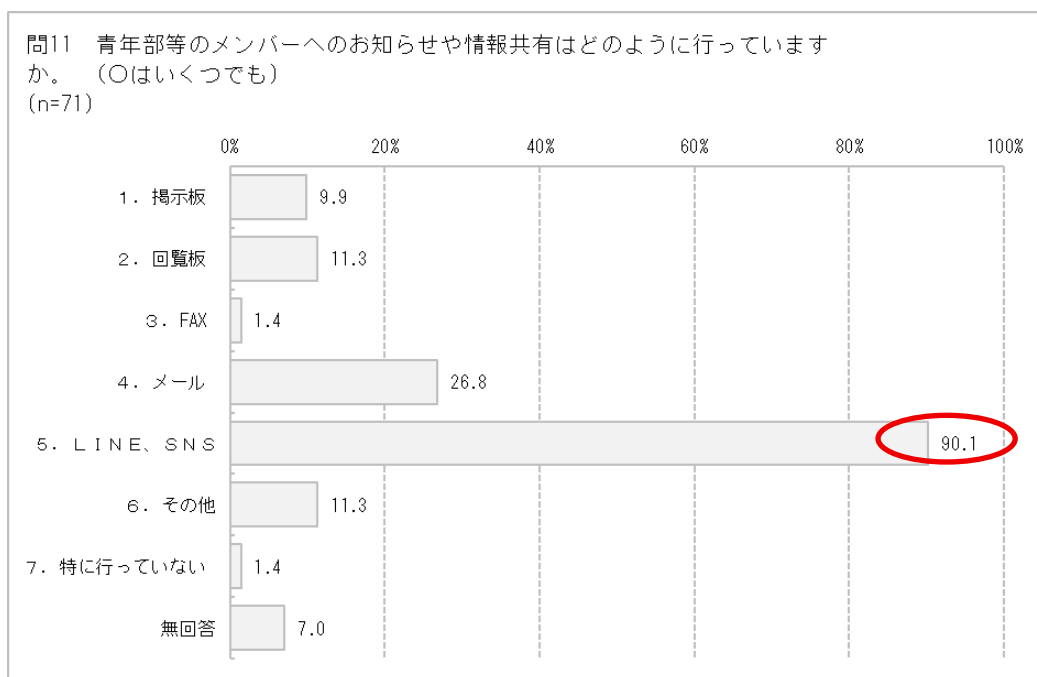
- ・ 前青年部長より引き継いで
- ・ 町会イベントでの声かけ
- ・ 神田祭（2）
- ・ 会社関係
- ・ 町会加入≒青年部
- ・ 町会からの依頼
- ・ マンション管理組合役員としての接点
- ・ 町会員、青年部からの声かけ
- ・ 生まれ育った
- ・ まち飲み
- ・ 神田祭の準備や片付け手配
- ・ 祭り参加等町会活動をきっかけとして勧誘
- ・ 元々住んでいて祭好きな子に声を掛け、総勢35名ほどになりました
- ・ 当町会では、個人会員は町会加入と同等に青年部に自動加入
- ・ 青年部等以外の町会役員。その役員からの声かけ

(2) 青年部の運営

① メンバーへの情報共有方法

- ◇ 「LINE、SNS」が9割とほとんどの町会で活用されている。また、「メール」が3割で、合わせてデジタルツールが上位を占める

図表 11 情報共有方法（複数回答）



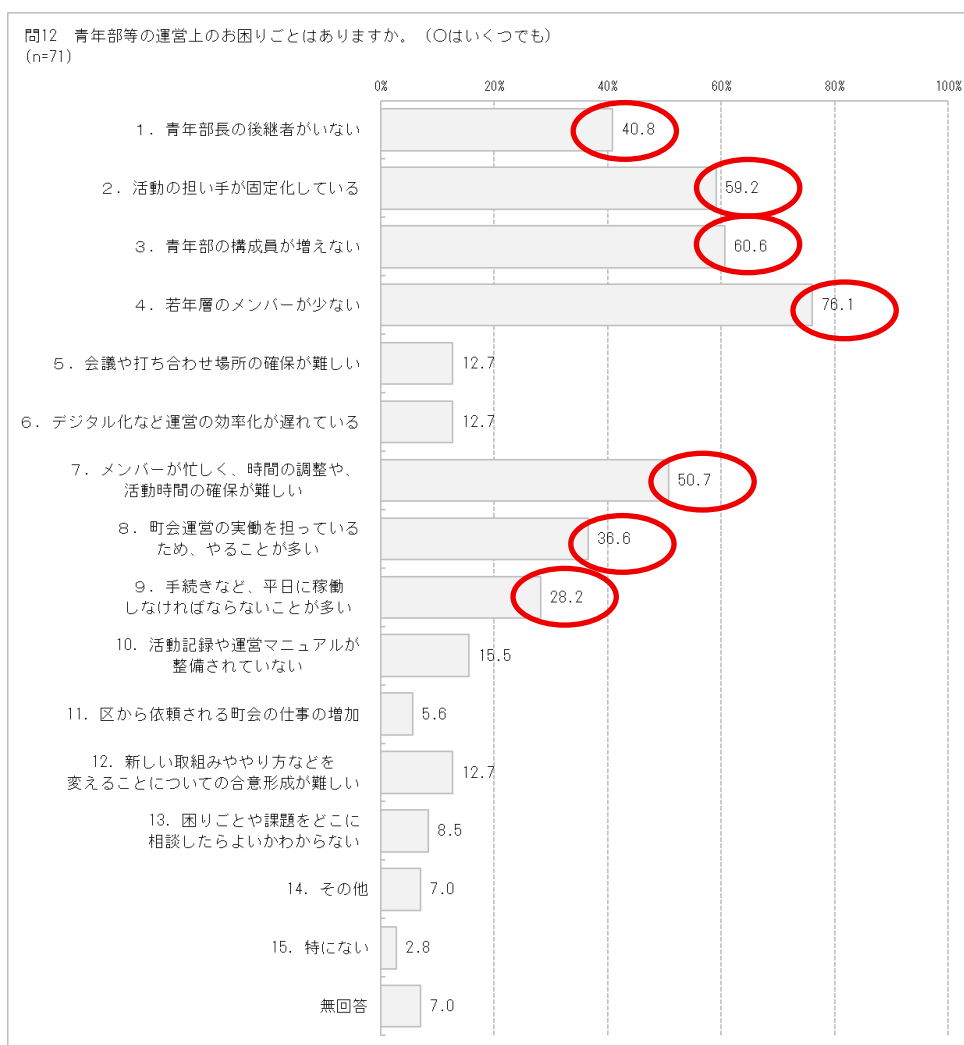
（その他）

- ・ キントーン
- ・ ホームページ
- ・ 役員会年
- ・ 直接面会
- ・ 町会ホームページ(大好き神田)
- ・ 青年部会議
- ・ ポスティング
- ・ 役員会（月に1回開催）

② 運営上の課題

- ◇ 「若年層のメンバーが少ない」ことを8割弱が懸念しており、「部の構成員が増えない」「担い手が固定化している」ことを6割が課題と考えている。人材に関する項目が上位
- ◇ 「メンバーが忙しく調整や活動時間の確保が難しい」ことを半数が課題と考えている（現役世代の多い青年部ならではの課題）。「部長の後継者がいないこと」や「町会運営の実働を担っているため忙しい」を4割が、「平日稼働の問題」を3割が指摘している

図表 12 運営上の課題（複数回答）

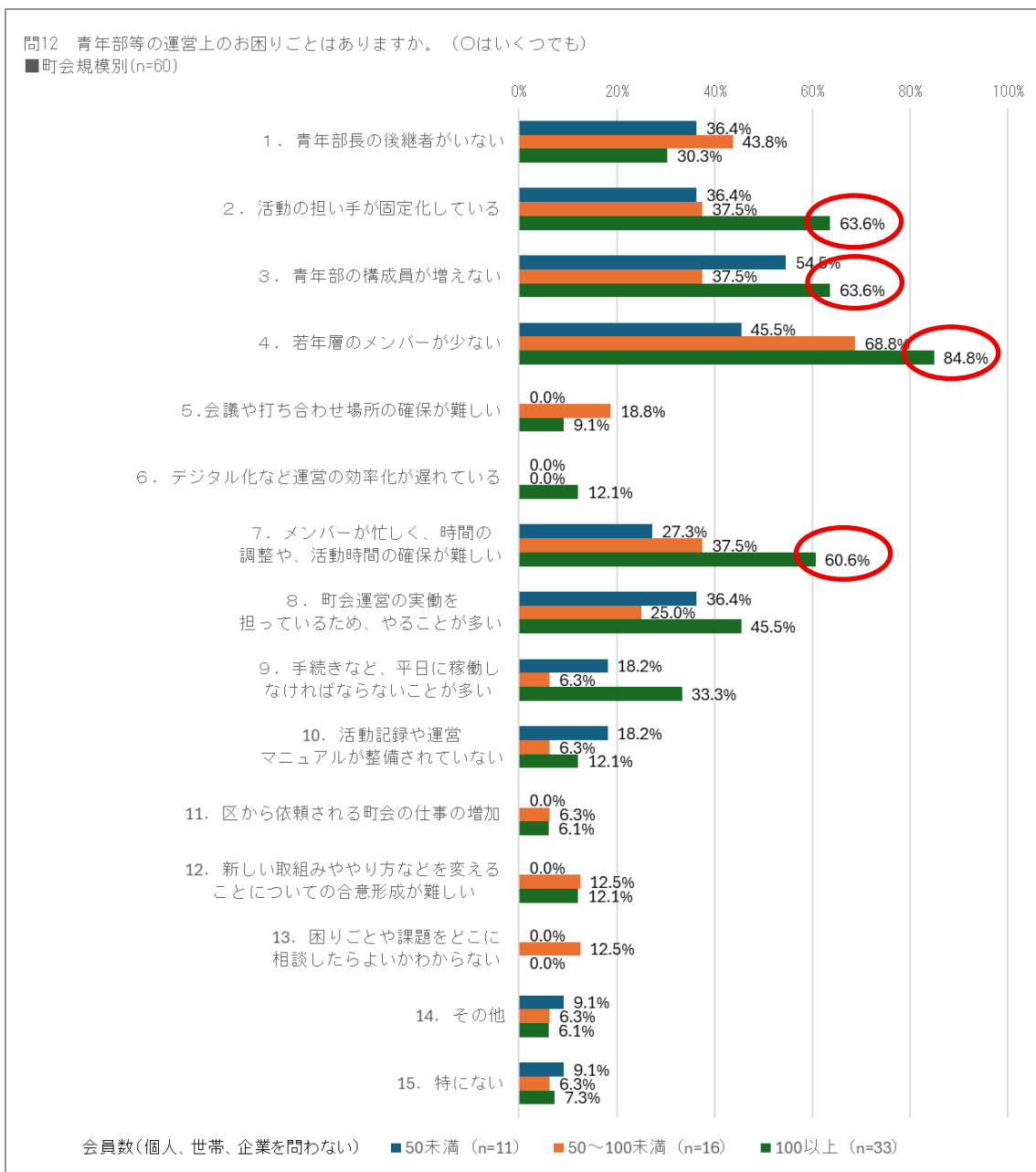


(その他)

- ・ 区などへの申請全般。直接行かなくてもオンラインで完結できると幸いです
- ・ 青年部のする仕事を役員が分担してやっている
- ・ 町会在住者 減少
- ・ ●●●での会議など平日が多く若手は仕事でできない
- ・ 青年部で活動する人は仕事を抱えており、当町会独自にイベントを企画・実施することが困難。
- ・ 青年部長は総務部長を兼務しており多忙。町内の若手にどのように町会活動に参加してもらえばよいかわからない

◇規模の大きい町会ほど、「若年層のメンバーが少ない」ことや、「部の構成員が増えない」「担い手が固定化している」ことや、「メンバーが忙しくて活動時間の確保が難しい」ことを課題として指摘している

図表 13 運営上の課題（複数回答）（町会規模別¹ クロス集計）



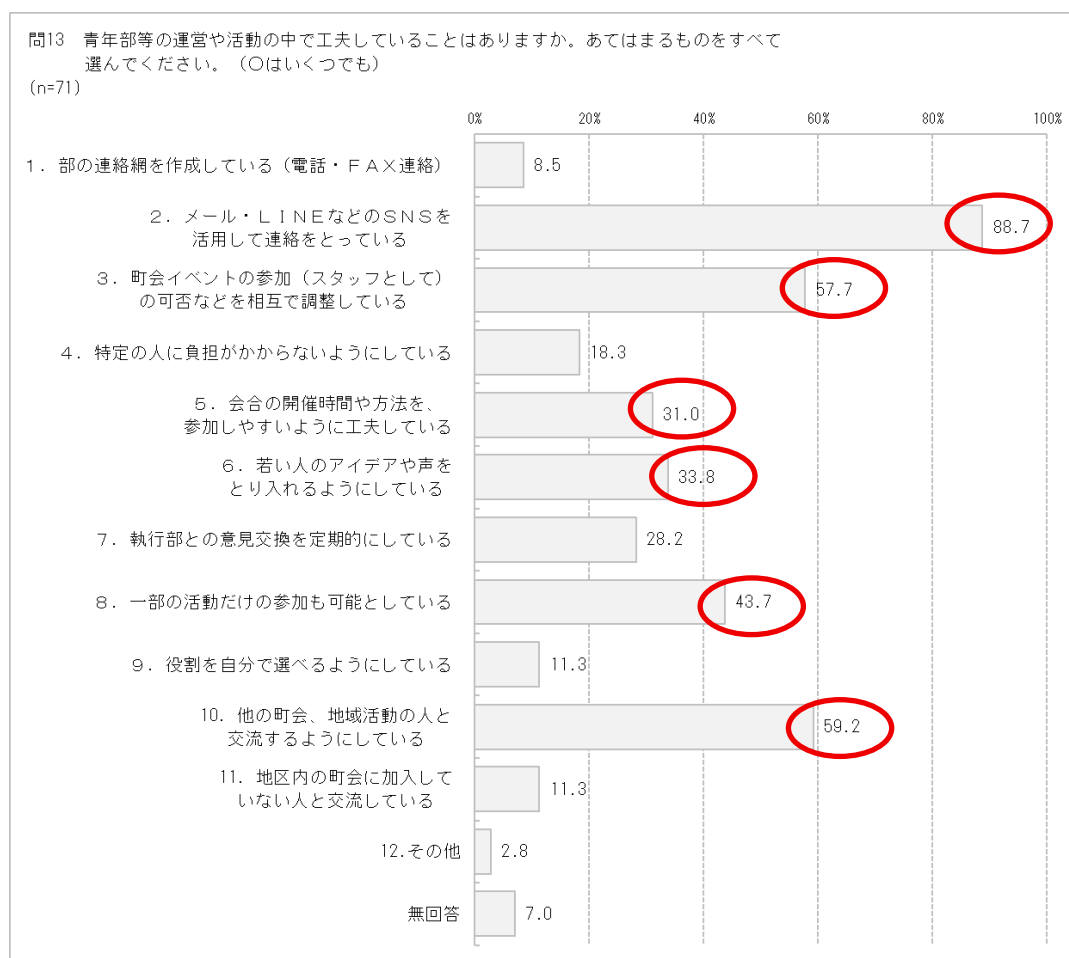
¹ 規模分類は、町会長アンケートで集計した結果を適用。町会長アンケートで規模が集計できなかった町会、町会アンケートの回答のない町会を対象外とした。以下同様。

③ 運営や活動の中で工夫していること

◇9 割が「メールや SNS」を活用して連絡をとっており、6 割が「他の町会や地域活動と交流する」時間を大切にしている。また、「イベントへのスタッフ参加を相互で調整する」など工夫し、フレキシブルな対応をしている

◇4 割が「一部だけの参加も可能」としており、3 割が「若い人のアイデアや声を取り入れる」「会合の時間や方法を参加しやすいように工夫」「執行部との定期的意見交換をする」などをしていると回答

図表 14 運営や活動の中で工夫（複数回答）



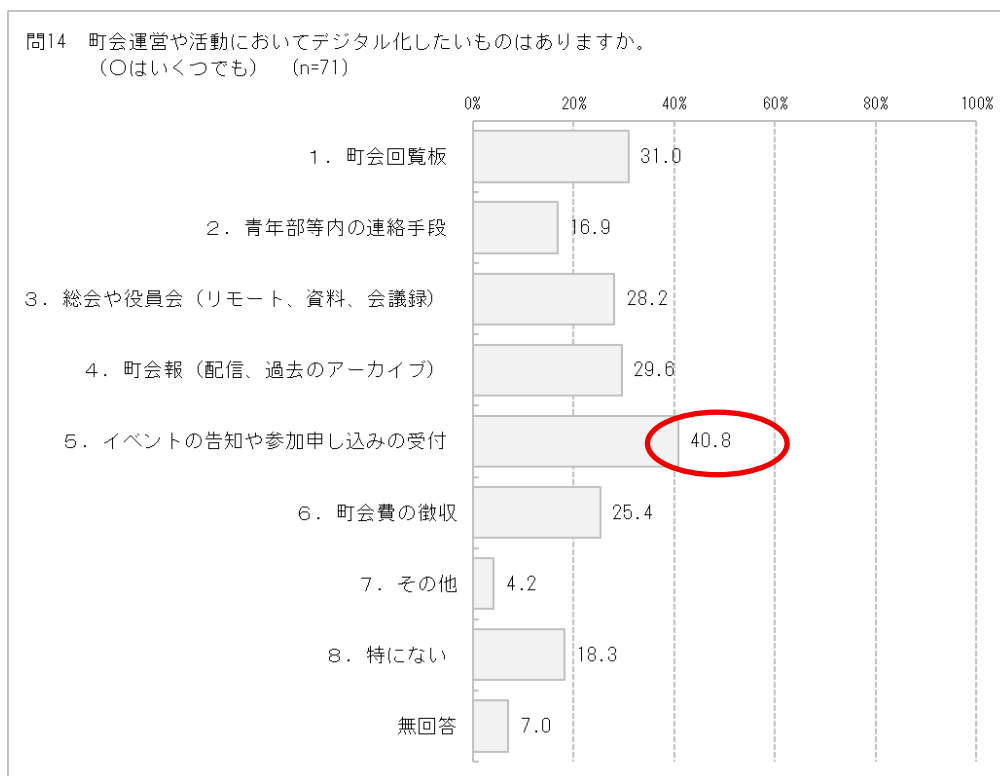
（その他）

- ・ 担い手が女性になってしまうので難しい
- ・ 町会に新たに入った若手へ町会の活動を紹介し、みてもらうようにしている

④ デジタル化したいものと課題

- ◇ 「イベントの告知や申し込みの受付」が4割。実働部隊ならではと言える
- ◇ 「町会回覧板」「町会報」「総会や役員会」「町会費の徴収」などが2～3割挙げられている
- ◇ 一方で「特にない」といった意見も2割弱みられる

図表 15 デジタル化したいもの（複数回答）

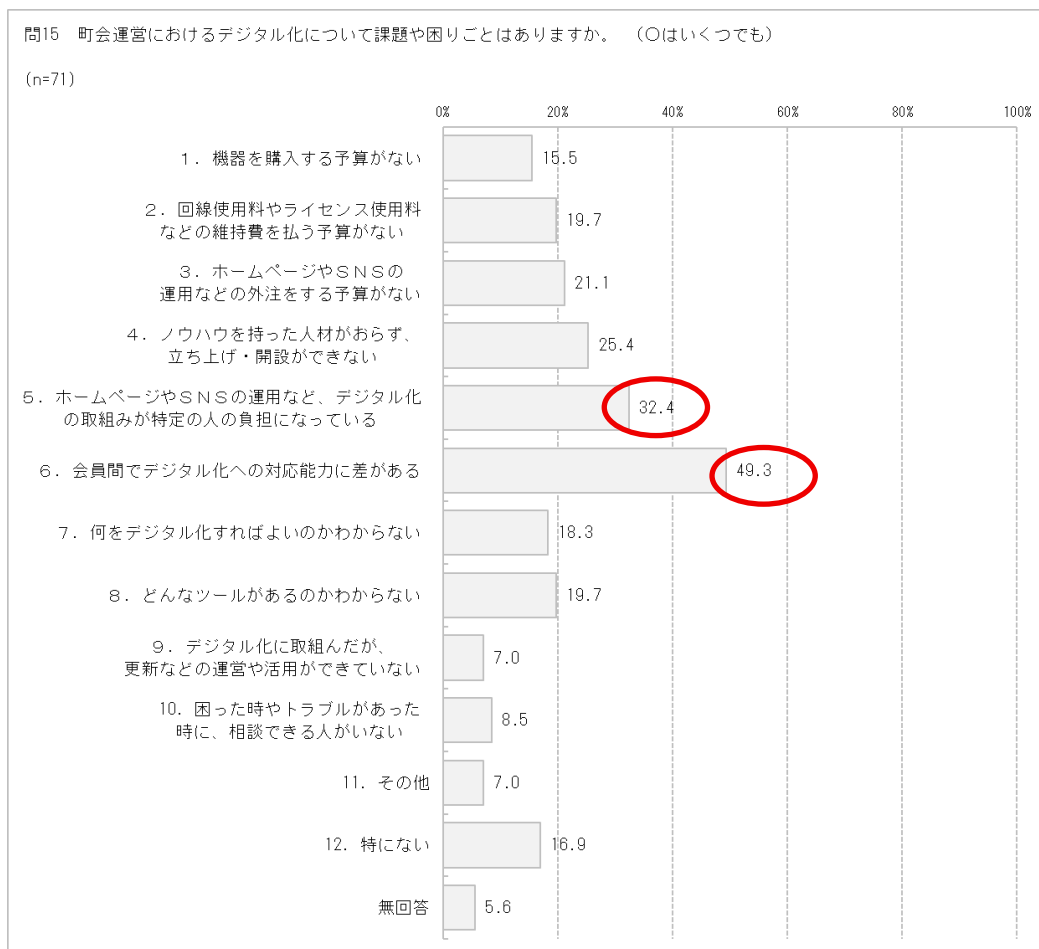


(その他)

- ・ 町会会員への連絡
- ・ 上記②、⑤はデジタル化対応済み
- ・ 町会員及び町会役員への情報共有

◇デジタル化の課題としては、「会員間でのデジタル化対応能力の差」がトップで半数が挙げ、また「デジタル化の取り組みの負担が特定の人の負担」となっていることを3割が指摘している

図表 16 デジタル化の課題・困りごと（複数回答）



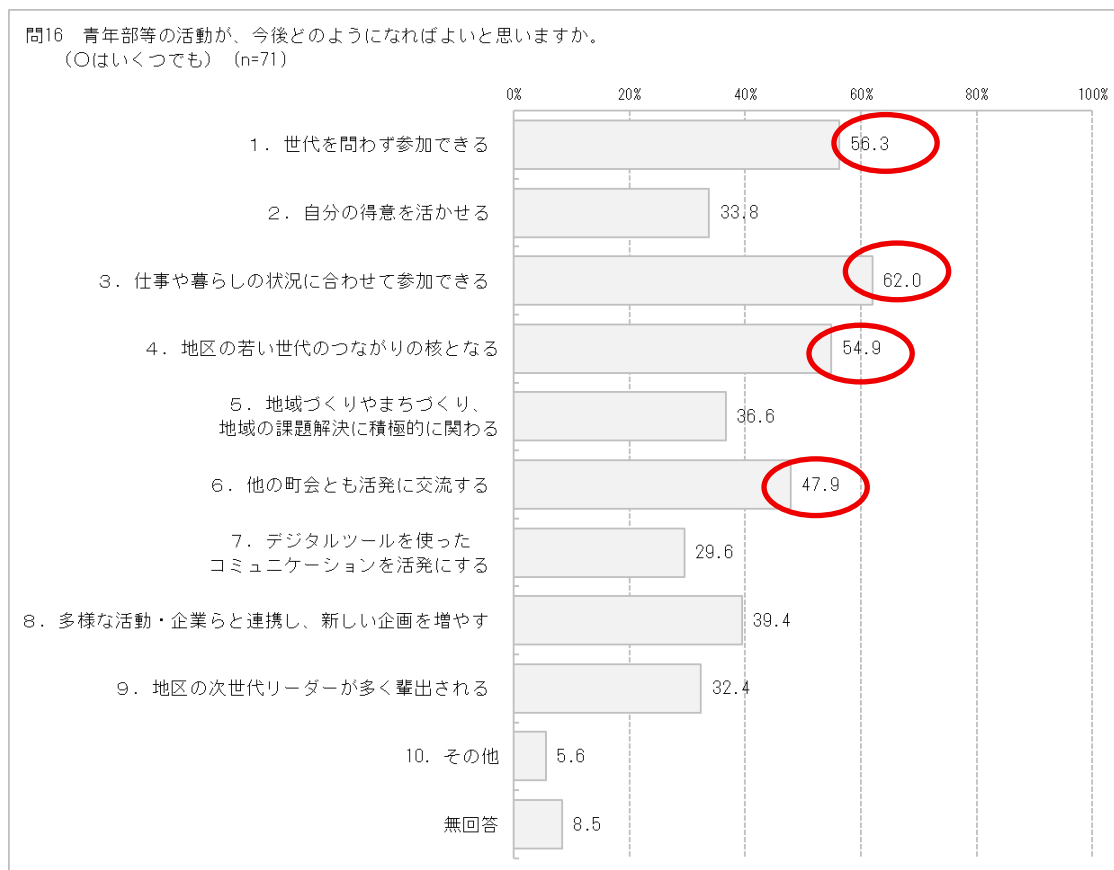
(その他)

- ・ 複数の仕組みに分散している（これ以上増やされても困る）
- ・ 町会の方々の関心がない。必要性を感じていない
- ・ 高齢者が対応できない
- ・ 支払いのデジタル化は取得がむずかしい。千代田区で何かしら来ると町会費、イベント会費などかなり増えると思う
- ・ 町会から補助金を出してもらっているが、個人所有パソコンを町会用に使用

⑤ 今後の活動

- ◇ 「仕事や状況に合わせて参加できるようになる」ことを筆頭に、「世代を問わず参加できる」ことや「地区の若い世代の繋がりの核となるとよい」も5～6割が考えている
- ◇ 「他町会とも活発に交流する」も上位

図表 17 今後の活動（複数回答）

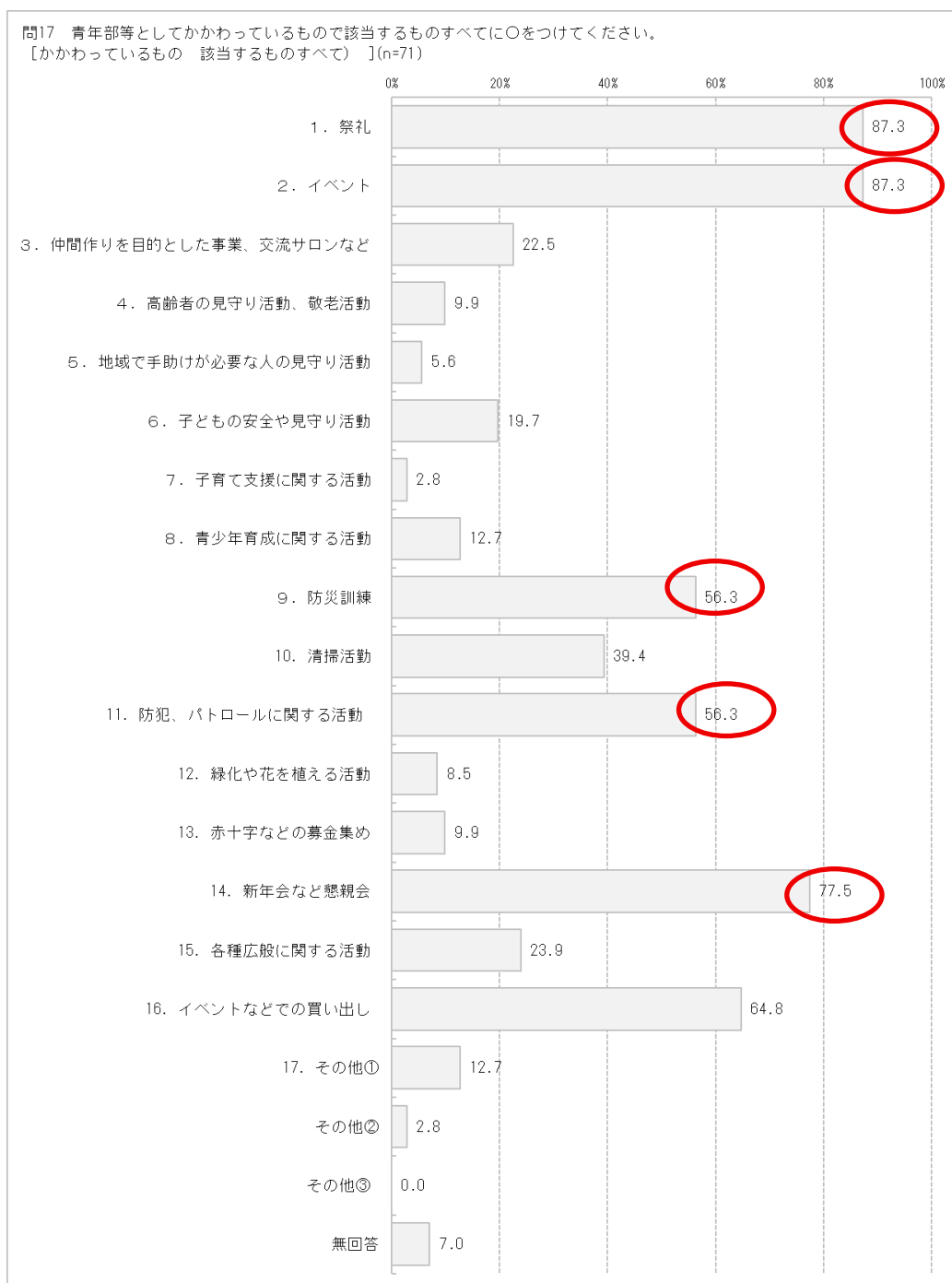


(その他)

- ・ 次の世代に町の文化を伝える
- ・ 世帯数の少ない町会なので如何に町会員を増やすかがずっと課題です。飲食店等の方にも町会に参加のお願いはしていますがなかなか…
- ・ 現状維持
- ・ 在町会企業の方々の協力をえる

(3) 青年部の地域活動

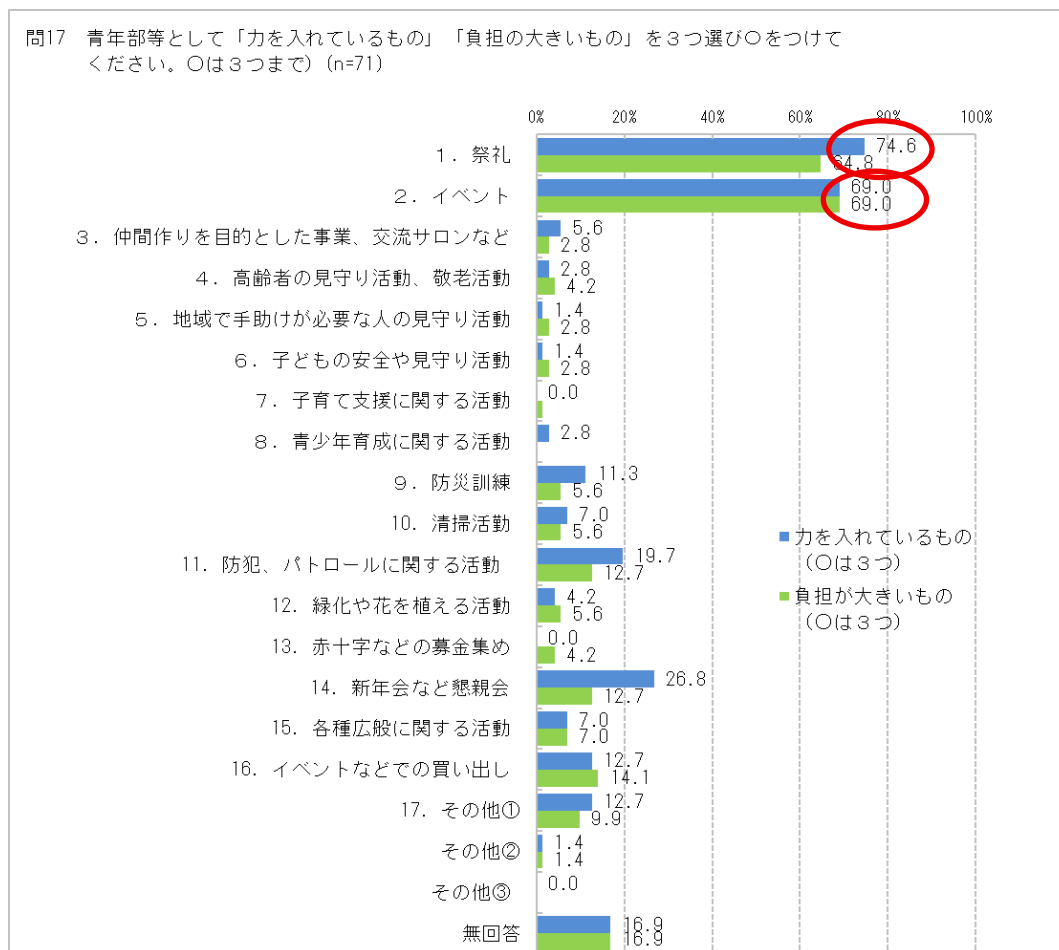
- ① 部としてかかっているもの、力を入れているもの、負担が大きいもの
 ◇かかっているのは「祭礼」と「イベント」が共に9割、「新年会」が8割
 ◇「イベントの買い出し」「防災訓練」「防犯活動」が6割前後と続いている
 図表 18 部としてかかっているもの（複数回答）



- (その他)
- ・ちよだスブラッシュ、神田祭(文化活動)、夏休みラジオ体操、献血
 - ・氏神、神社の青年会活動、SNSによる情報発信、区民体育大会、「1.祭礼」に入るかもしれないが神田祭に呼ぶ外部の祭りの友好団体との交流

◇力を入れていて負担が大きいものは「祭礼」と「イベント」が7割と多い

図表 19 部として力を入れているもの/負担の大きいもの（複数回答）

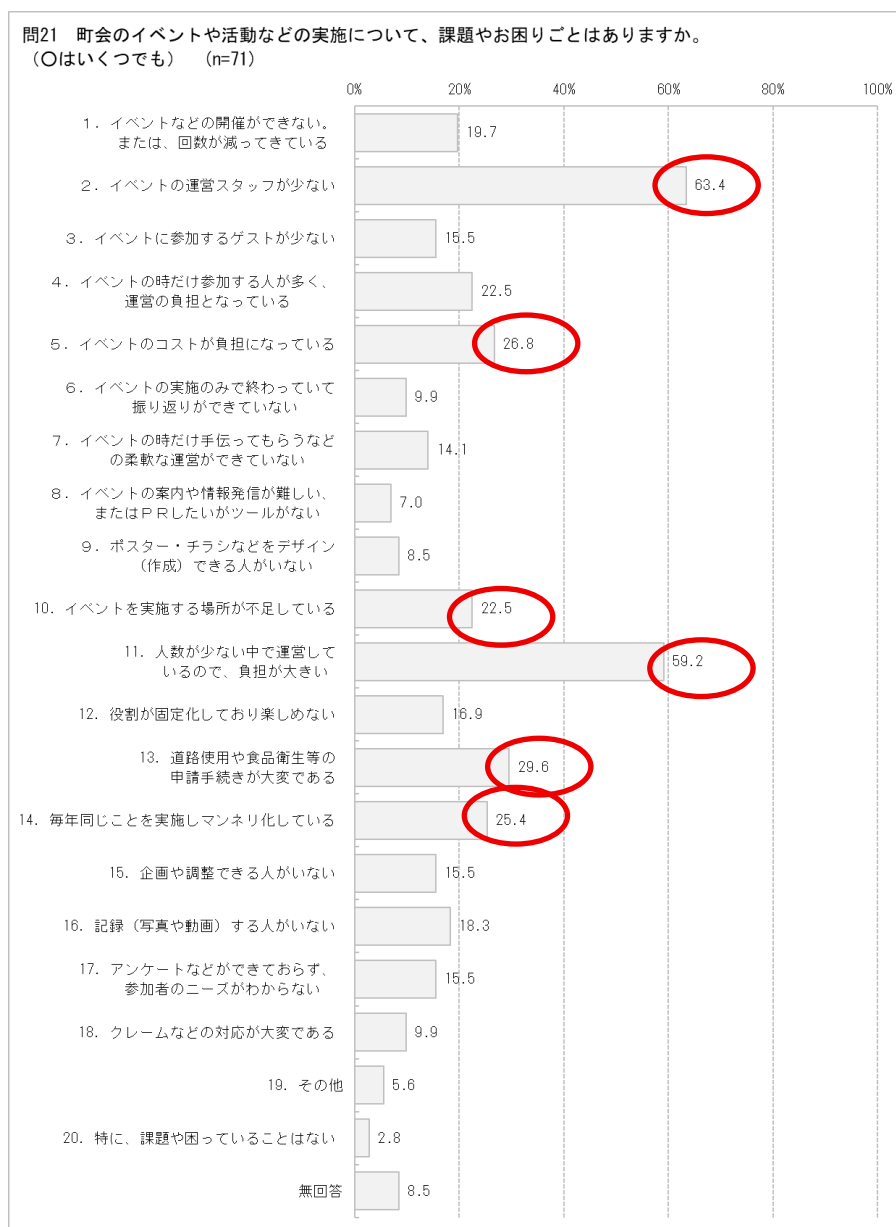


② 活動実施上の課題

◇「スタッフが少ない」「負担が大きい」ことが共に6割前後と上位

◇実働部隊として、「申請手続きの煩雑さ」「イベントにだけ参加する人が多く運営が負担」、「場所」「コスト」の問題、「マンネリ化」等の課題も比較的多い

図表 20 活動実施上の課題（複数回答）

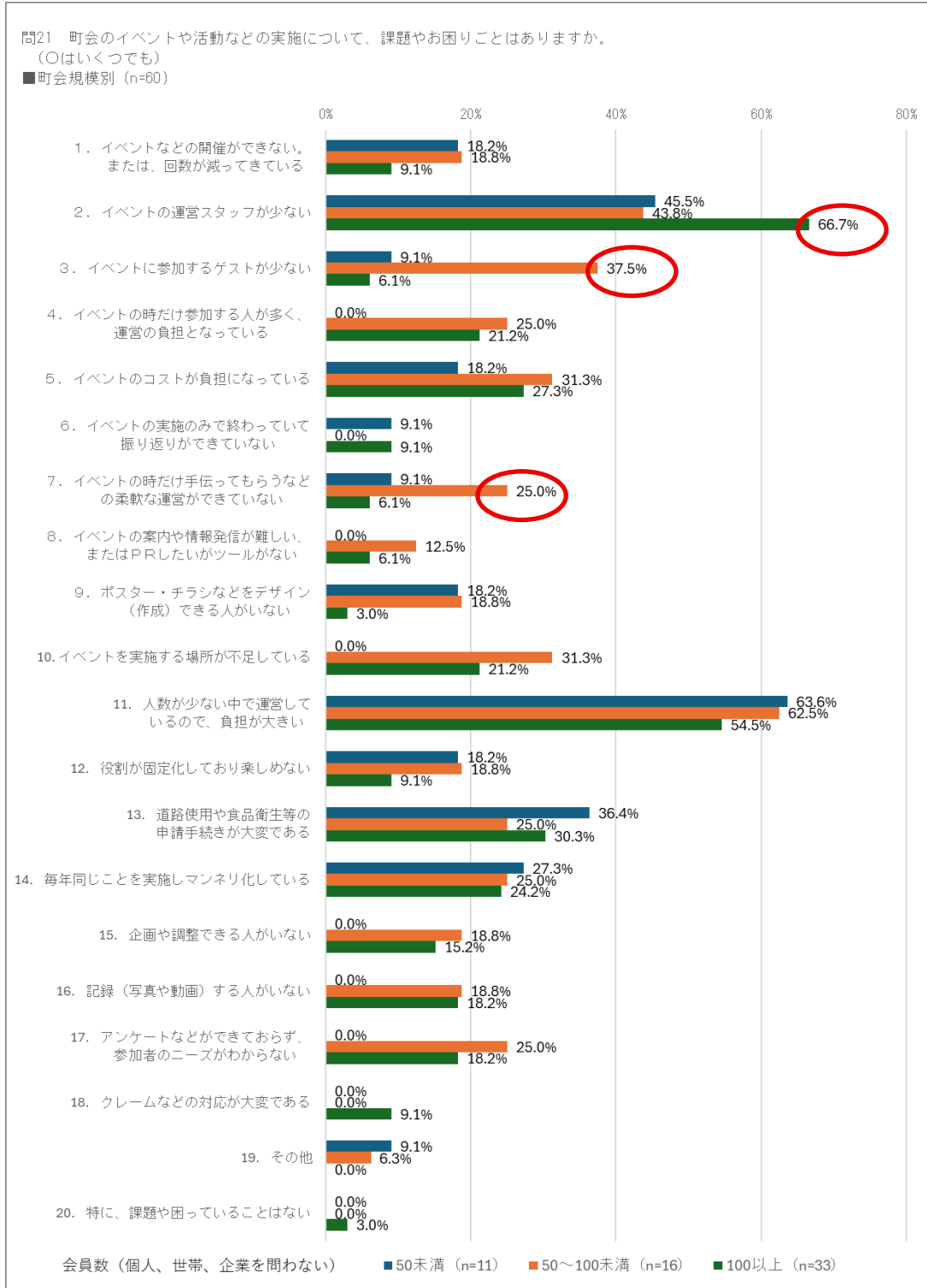


(その他)

- ・ 御酒所の場所が確保できない
- ・ 上記②、③は町会単独か複数会合同かによって異なる。後者の場合は運営スタッフ、参加スタッフともに多い
- ・ (無関係の)議会議員が現われる
- ・ 場所がない

◇大規模町会では「運営するスタッフが少ない」、中規模町会で「参加するゲストが少ない」「柔軟な運営ができていない」が他に比べ回答割合が高い

図表 21 活動実施上の課題（複数回答）（町会規模別 クロス集計）

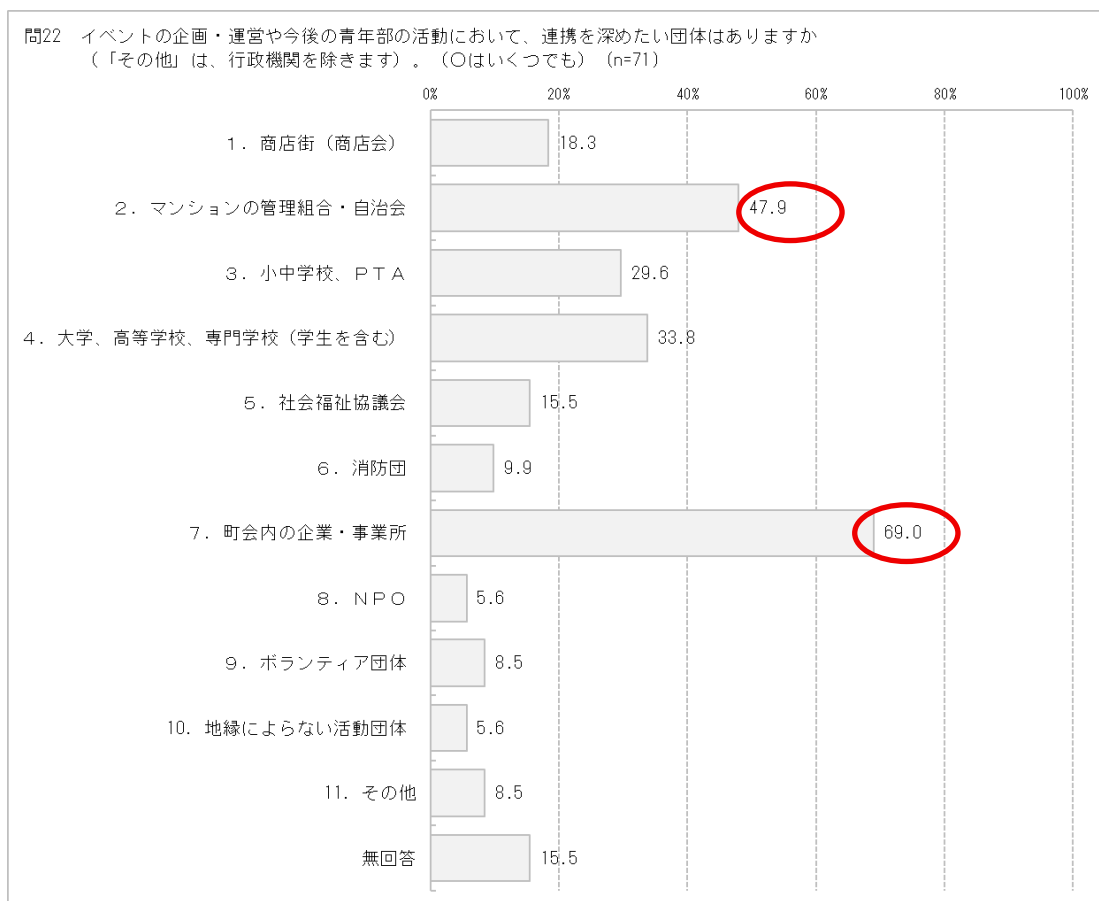


③ 連携したい団体

◇町会内の「企業」が7割でトップであり、次いで「マンションの管理組合」が5割

◇「大学等」や「小中学校、PTA」などが3割前後

図表 22 連携団体（複数回答）



（その他）

- ・ 区内の企業、スポンサーになってくれる会社
- ・ より広域な(町会外)法人や人
- ・ 若い人材が全然いない為青年部の設立が出来ない
- ・ 他町会青年部
- ・ 大使館

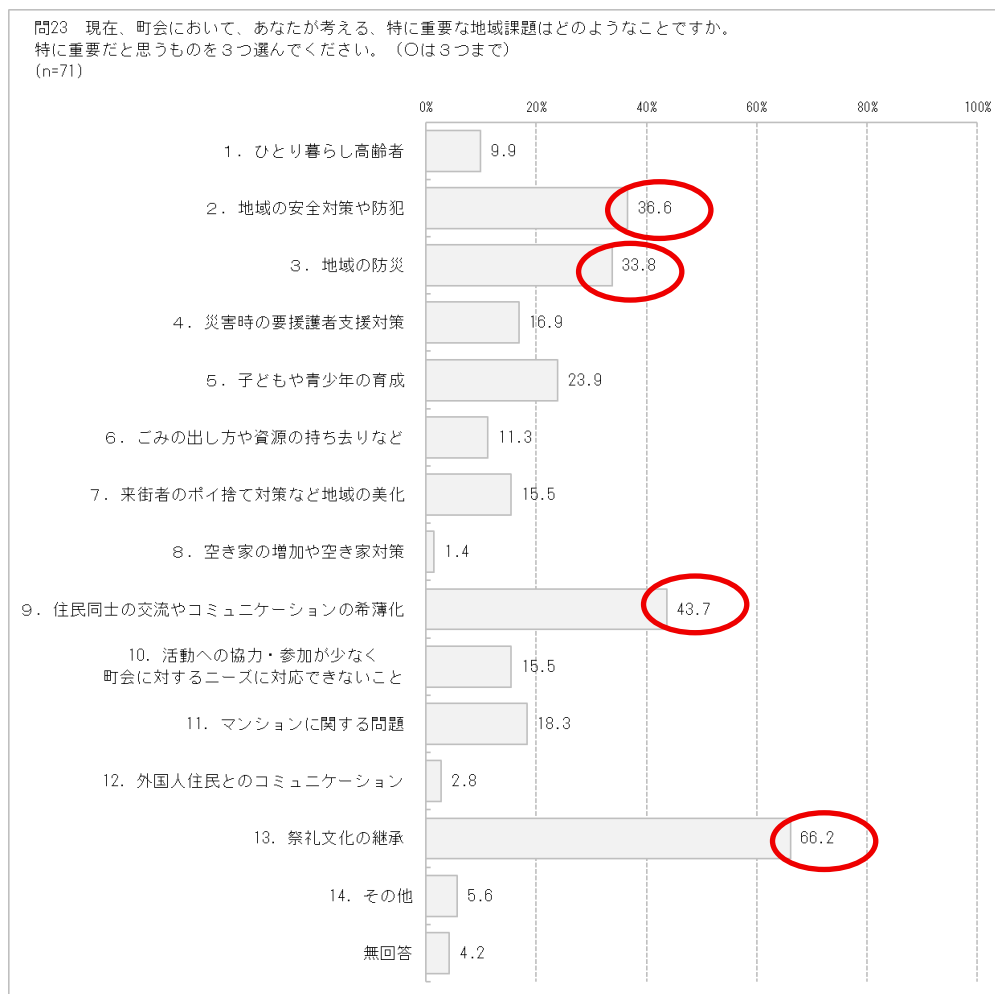
(4) 町会活動の課題やこれから

① 地域課題

◇「祭礼文化の継承」が7割弱でトップ

◇「住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化」と、「地域の安全対策や防犯」「防災」が4割前後

図表 23 地域課題（複数回答）



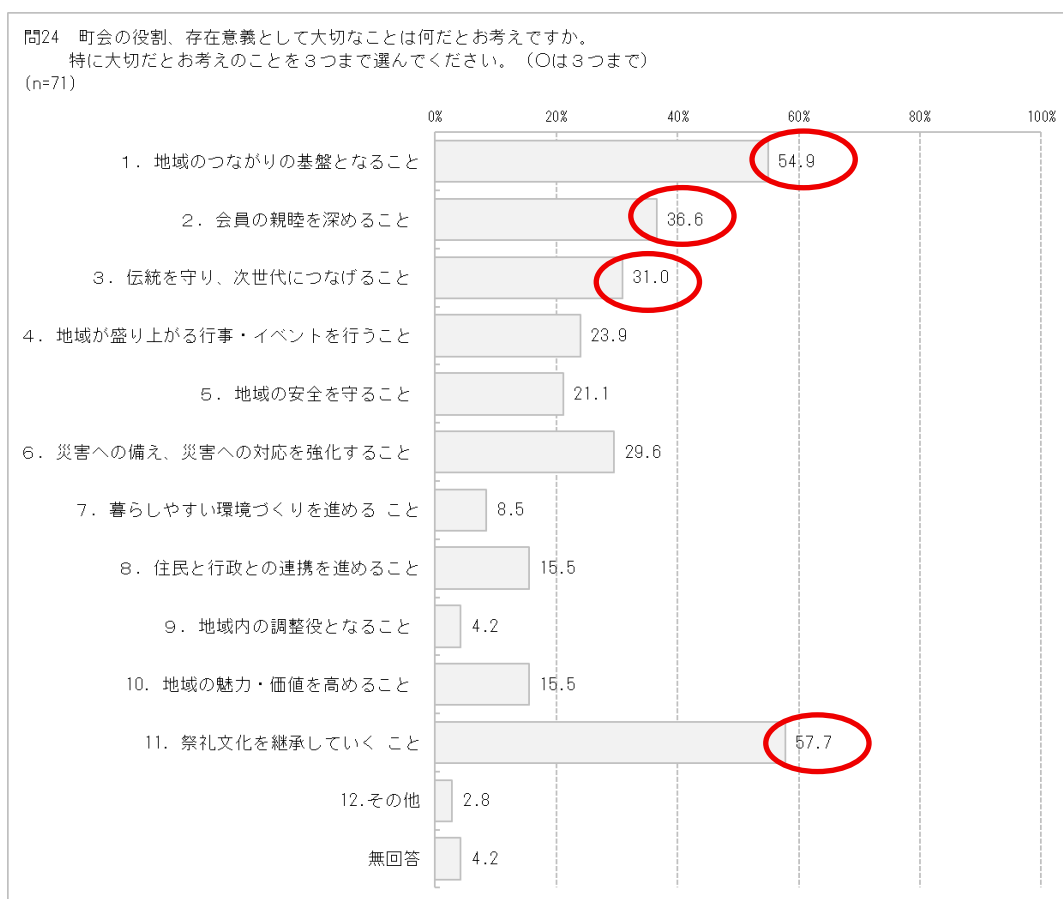
(その他)

- ・ 高齢化と住民減少(マンション以外)
- ・ 法人間のコミュニティ形成
- ・ 身の丈にあった運営
- ・ 町会員になってもらうこと。町会費の徴収

② 町会の存在意義

- ◇ 「祭礼文化の継承」「地域の繋がりの基盤になること」が存在意義とする意見が5-6割が多い
- ◇ 「会員の親睦」「伝統を守り次世代につなげる」が3割超

図表 24 町会の存在意義（複数回答）



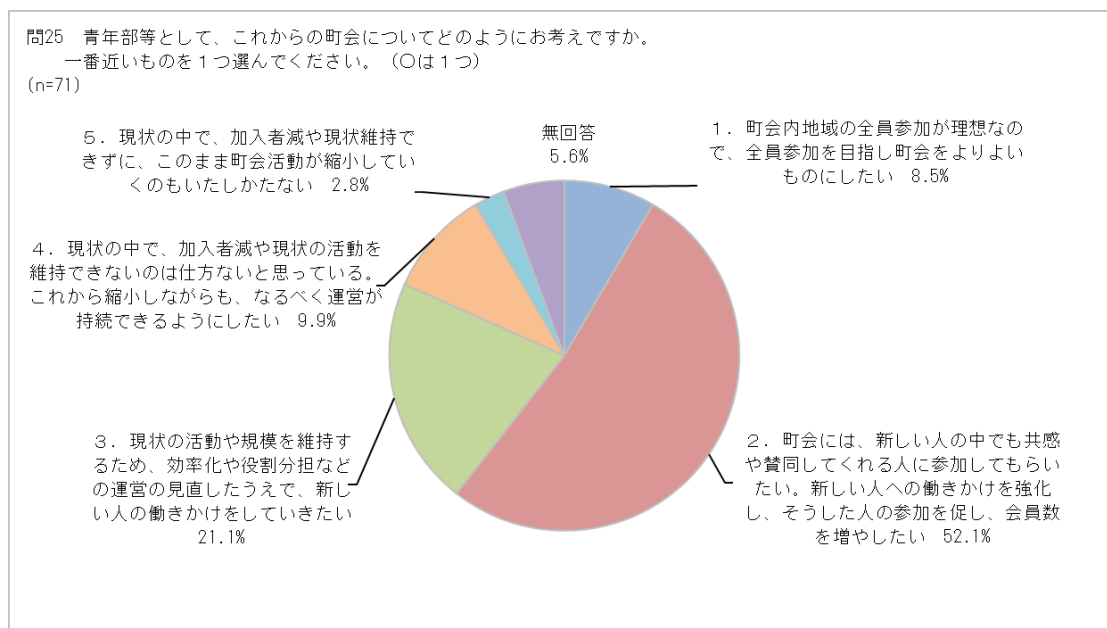
(その他)

- ・ 町会組織の次世代への継承
- ・ 全て大切です！

③ 町会活動のこれから

- ◇「共感や賛同してくれる新しい人の参加を促していきたい」とする考えがトップで過半数
- ◇次いで「現状維持のために効率化や運営の見直しをしていく」とする考えが2割
- ◇「全員参加を理想として目指す」考えには賛同が少ない

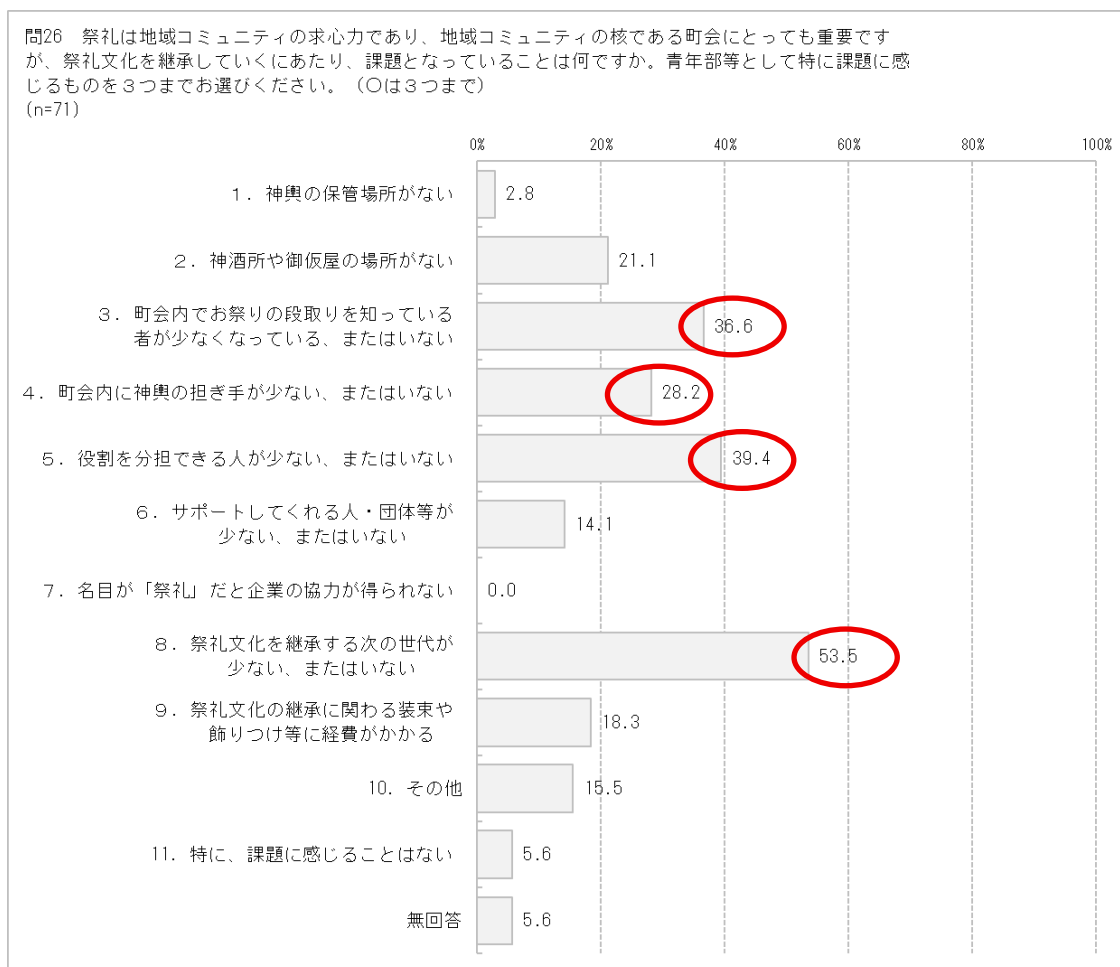
図表 25 町会活動のこれから（単数回答）



④ 祭礼文化の継承の課題

- ◇ 「祭礼文化を継承する次世代が少ない、またはいない」ことを5割超が懸念している
- ◇ 「役割分担できる人が不足」や「段取りを知るものが減っている、またはいない」ことを4割弱が挙げている
- ◇ 「神輿の担ぎ手が少ない、またはいない」の指摘も

図表 26 祭礼文化の継承の課題（複数回答）

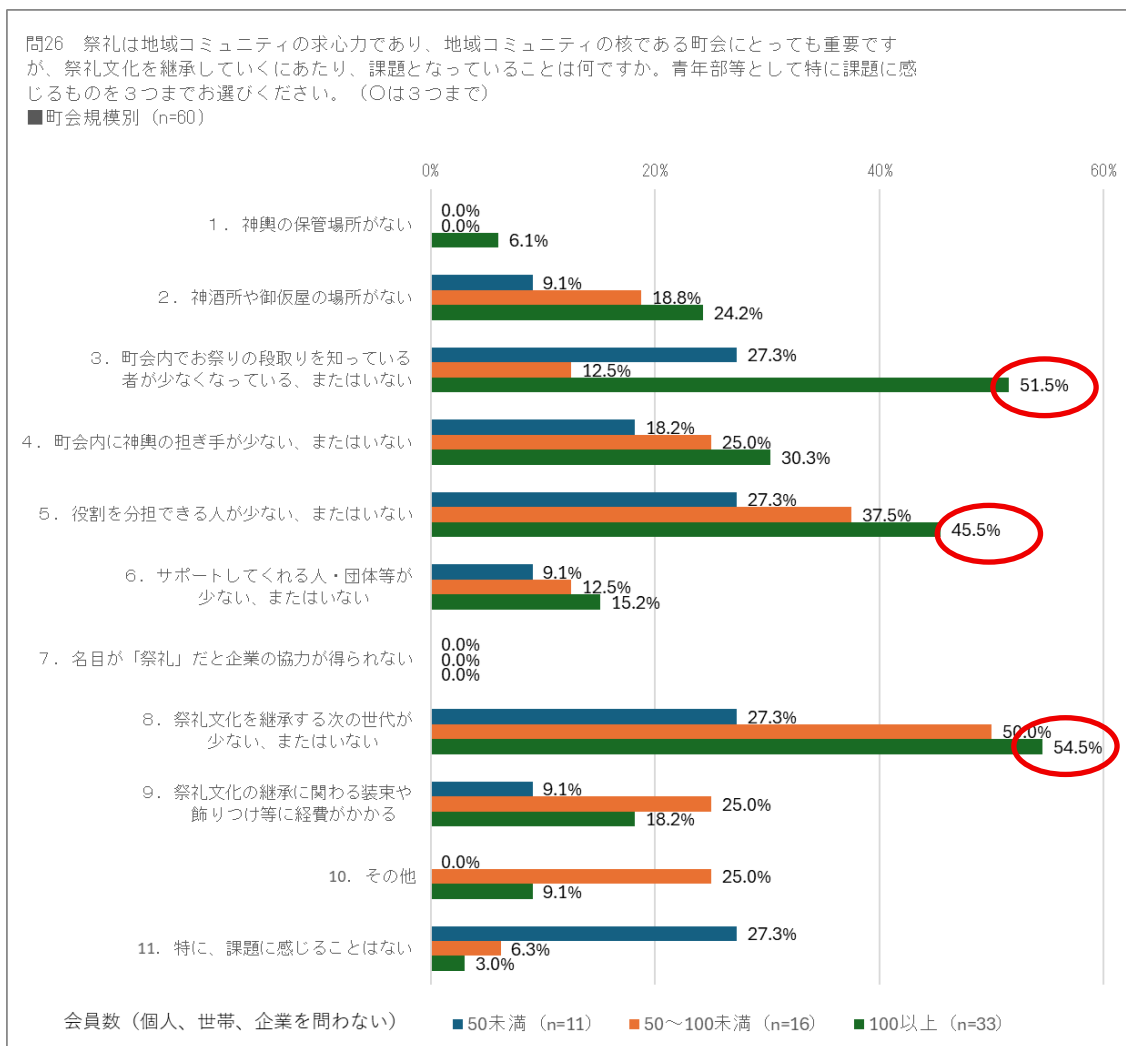


(その他)

- ・ 祭礼に関心が無いが担い手となっている
- ・ そもそも神輿がない
- ・ 祭礼に興味を持つ若手が減りつつある
- ・ 普段からの町内企業との関係性強化
- ・ 神輿、山車などのメンテナンス費用の負担が大きい
- ・ 神輿、山車の修繕費が高くなかなか修繕出来ずにいる。神輿屋から他の地域ではコミュニティ費で修繕すると聞いたが神保町地区は連合町会で決まってるので使えない。その他修繕に使える補助がないか探している
- ・ 祭礼に参加していない
- ・ 現在は大手企業の駐車場のはしを借りてるが将来は不安である
- ・ 神輿、山車の保管場所が遠い(車で約1時間)
- ・ 山車、みこしの維持費の負担

- ◇大きい町会ほど「祭礼文化を継承する次世代」や、「役割分担ができる人が少ない・またはいない」、「担ぎ手が少ないこと・またはいないこと」を懸念している
- ◇特に規模が100以上の町会で、過半が「段取りを知るものが減っている・またはいない」ことを問題視している

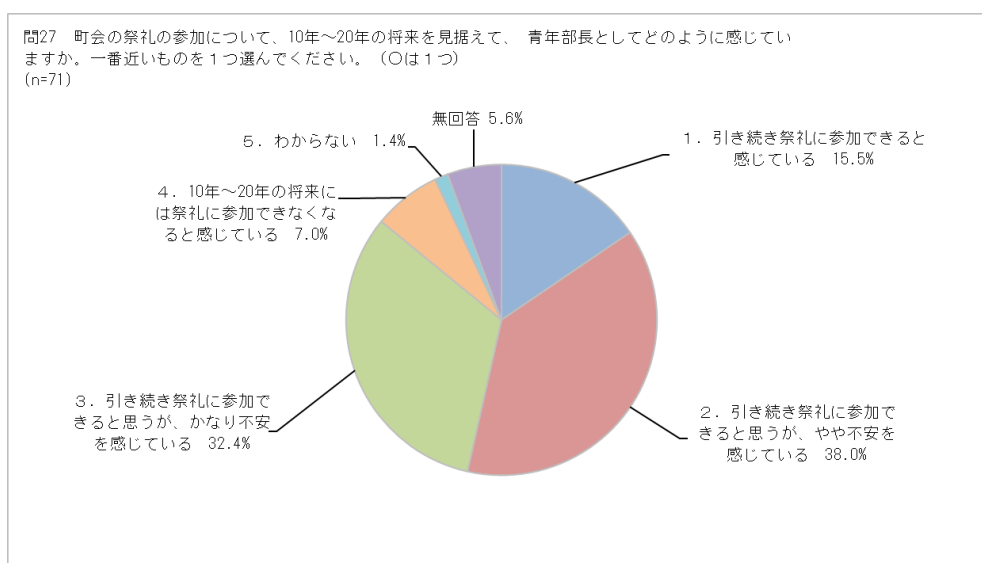
図表 27 祭礼文化の継承の課題（複数回答）（町会規模別クロス集計）



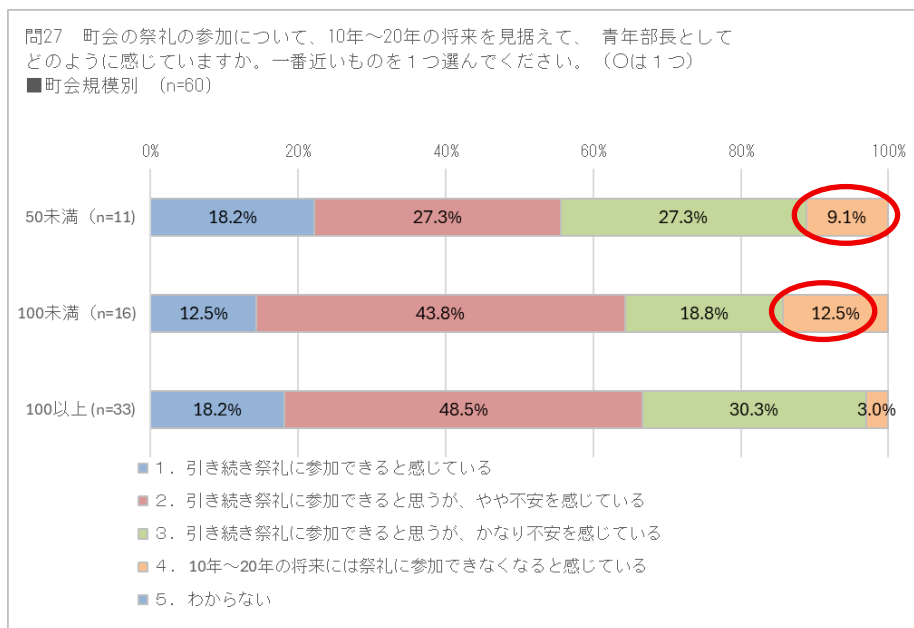
⑤ 祭礼への参加と負担感・充実感

- ◇10年～20年後、祭礼に参加できるかについて、「やや不安」が4割弱と一番多く、不安を感じている割合は8割にのぼる
- ◇将来祭礼ができなくなる危機感は、100未満の規模では1割程度あり、100以上の町会との差が際立っている
- ◇負担感と充実感については、「均衡している」と感じているのが4割弱でトップであり、トータルでは「負担が多い」と感じる割合よりも「充実感が多い」と感じる割合が高い

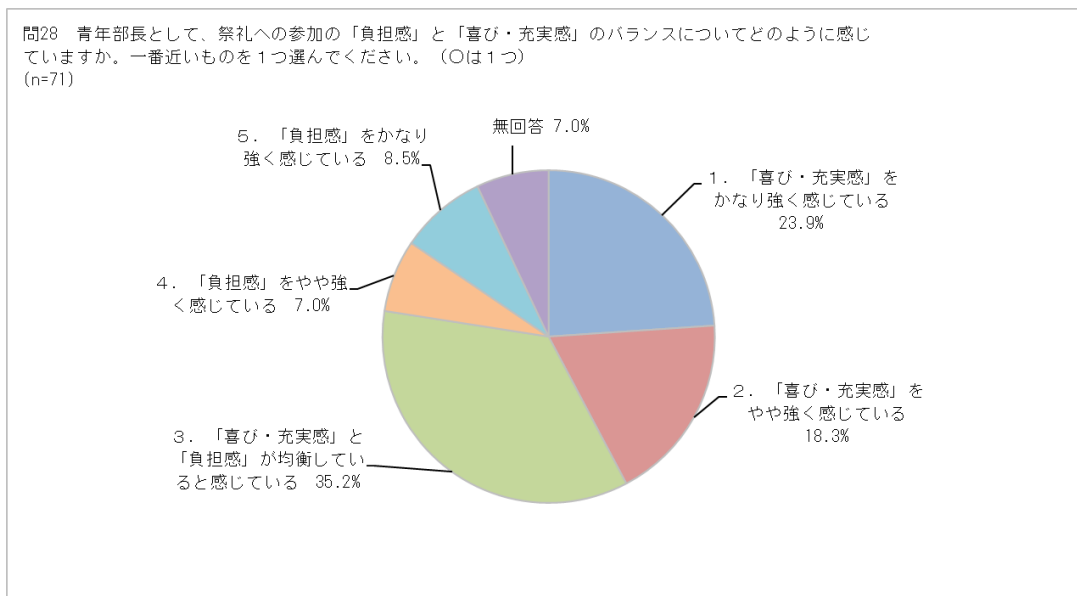
図表 28 将来の祭礼への参加（単数回答）



図表 29 町会規模別 将来の祭礼への参加（単数回答）



図表 30 祭礼の負担感・充実感（単数回答）

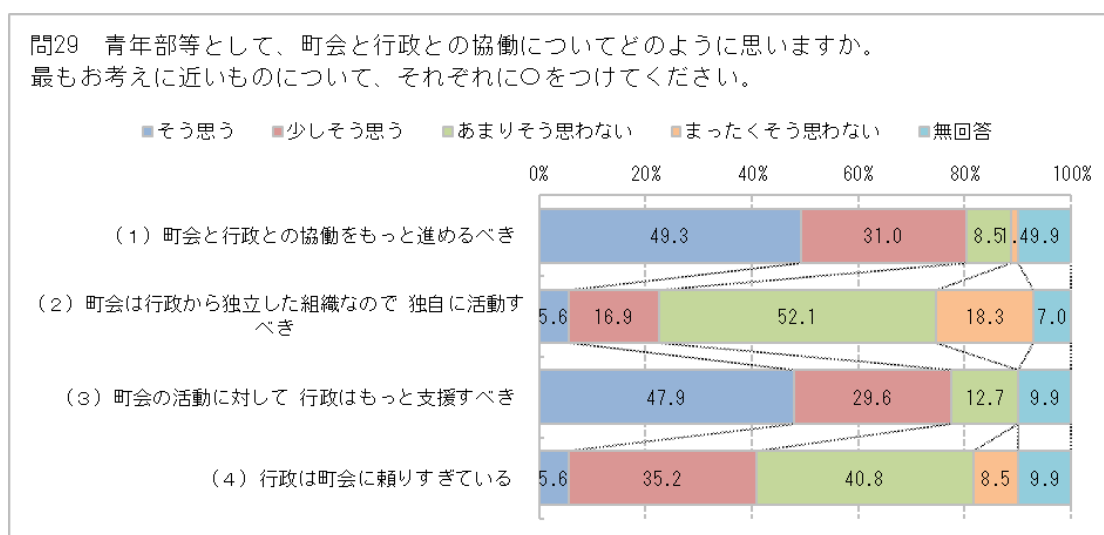


(5) 行政との関係

① 町会と行政の協働

- ◇ 「協働をもっと進めるべき」「もっと支援すべき」という考えに8割が賛同
- ◇ 逆に「独自に活動すべき」という考えには7割が反対
- ◇ 「行政は町会に頼りすぎている」という考えには賛否が分かれる

図表 31 町会と行政の協働（単数回答）

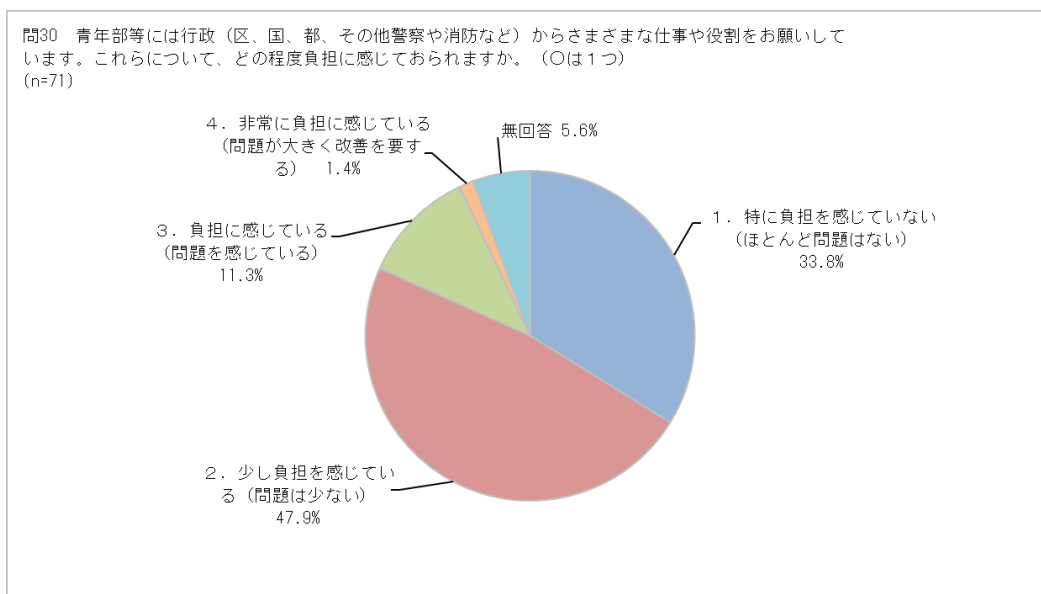


② 行政からの仕事の負担感

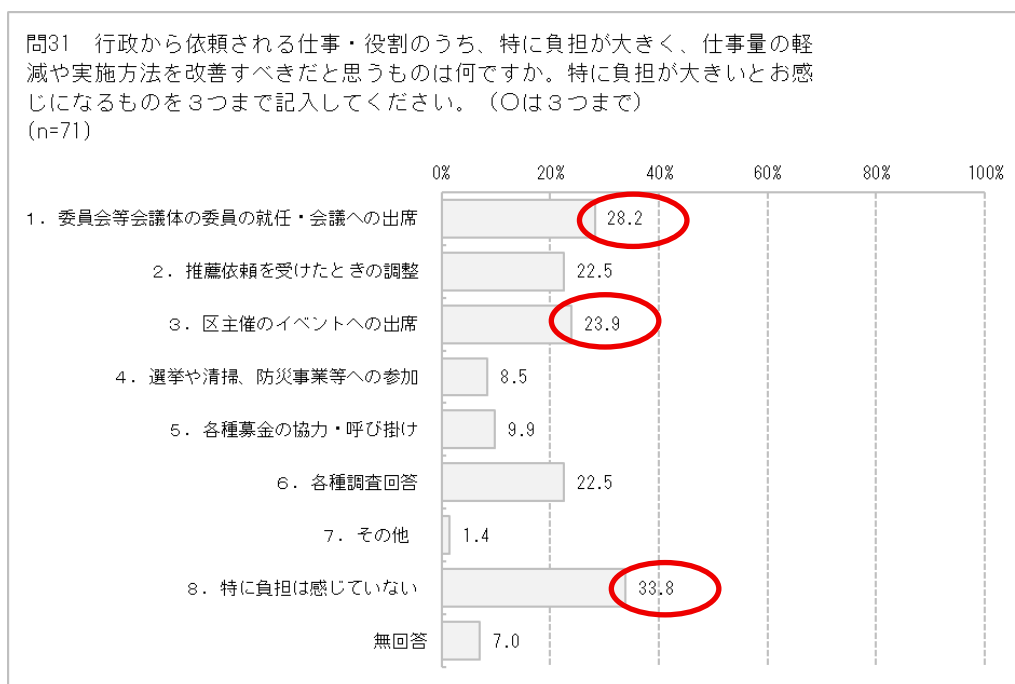
◇「少し負担を感じる」という意見が半数弱で、これを含め負担に思うのが6割

◇負担については、「特に負担はない」という意見が3割強ある一方、区が主催する「委員会等の会議やイベントへの出席」「各種調整」や「調査回答」が2-3割とわかれている

図表 32 行政からの仕事の負担感（単数回答）



図表 33 特に負担感の大きい仕事（複数回答）



(その他)

- ・ 区役所や出張所・警察など直接出向かないと対応できないものを減らしてほしい

③ 行政からの町会への支援

◇運営支援では「事業への財政支援」が5割と多い。次いで「事務手続きの簡略化」となっている。青年部はイベントなどの実働部隊となっているため、関連要望が多いことがうかがえる

◇「町会と他の団体や事業者の協力・協働コーディネート」も2割

図表 34 特に重要な行政からの町会運営への支援（複数回答）



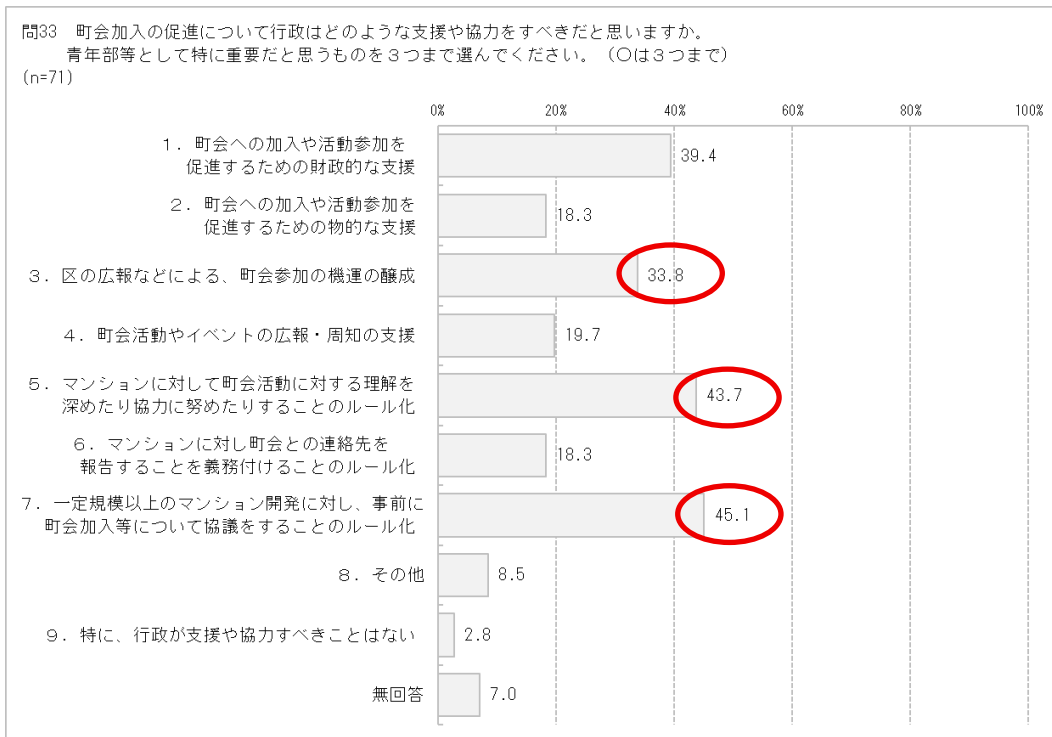
(その他)

- ・ 揉め事の対応支援
- ・ 法人（会社員）が町会活動への参加を業務の一環として位置付けられるようにし、休日手当や活動に対する人件費の原資として活用できる助成金（補助金）や、法人に対する減税制度などの支援策を望みます
- ・ 子供が町会活動に参加・貢献した際、それに報いるような簡易的な仕組みがあると良い
- ・ 青年部専用の財政的 物的支援体制
- ・ 町会内の住民への町会参加のお願い又は、税金の優選実質的なメリット
- ・ 他地域、他区、他県の取組みや好事例の紹介
- ・ 山車、みこしといった歴史があり、一町会での維持が困難なものへの財政支援

◇町会加入促進では、「マンションの町会活動への理解や協力」や「開発段階からの加入の事前協議」のルール化が4割超から求められており、ついで「区の広報による町会参加の機運の醸成」が挙げられる

◇その他として、法人会員加入促進を求める声も

図表 35 特に重要な行政からの町会加入促進への支援（複数回答）

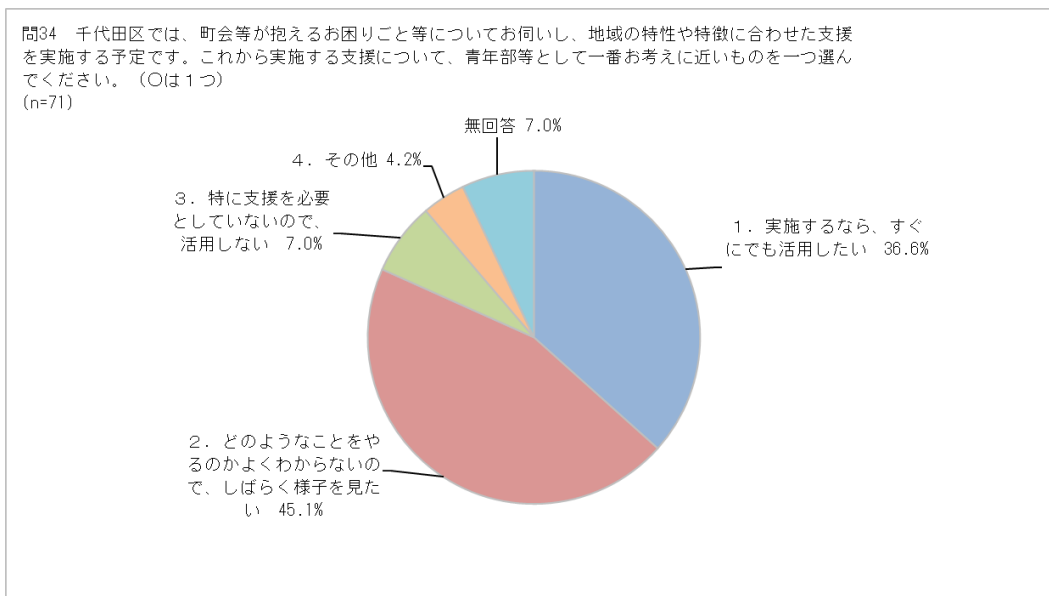


(その他)

- ・ もう住人がいないので、企業に加入してもらう方法を検討してほしい
- ・ 千代田区という地域特性を踏まえ、住民主体の町会の考え方を見直し、法人（地域で働く人）も一体となったコミュニティの創出を支援していただきたいと考えています
- ・ 区のHP等公的なサイトで、各町会の紹介を行う等の積極的な対応がほしい
- ・ 上ではマンションにとしかありませんが企業、学校等へのルール化も考えて頂きたいです
- ・ 上記⑦に関して、すべてのマンション開発に対するルール化
- ・ 企業に対して町会協力の理解、参加の支援

◇今後の支援策については、内容が分からないので当面様子見という意見が半数弱、すぐに活用したいというものも4割弱

図表 36 行政からの今後の支援の活用（単数回答）



3. 青年部アンケート自由回答まとめ

(1) 問 18「活動を通して感じたよかったこと」

① 地域交流・人脈形成

- ・ 地域の仲間ができたこと
- ・ 他町会の人とも仲良くなれた
- ・ 地域交流が深まった
- ・ 交流の範囲が広がり人脈が増えた
- ・ 他町会との交流が増えた
- ・ 地域の方との新たな繋がりができたり、共有する事柄が出来たり、飛び地での地域と交流を図れたこと。
- ・ イベントなど多くの子供達が楽しんでいる姿、笑顔を見ると、準備などの苦労も報われた思いになります。地域の一員として、ささやかながらも町会活動を通じて貢献できていることに、やりがいを感じています。
- ・ 地域でのコミュニケーションが図れること
- ・ 各会員が連携しながら配膳等を行い、皆で町会行事を盛り上げるために協力する機会となったこと。
- ・ 普段お会いしてない町会員の方々と交流ができる。
- ・ 町内のマンション連絡会を開催することで、地域マンションの理事長や役員と交信を深めることができ、祭礼などにも参加してくれる地域住民が増えた
- ・ 会員同士の交流
- ・ イベントを通じて町内が活性化する。町会員、子供達の顔をお互いが覚えられるので防犯面や安全面でいいと思う
- ・ 祭礼については、老若男女問わず、みなさんが参加していただき、助かっています。
- ・ 地域のコミュニティ参加を通じていろいろな人と出会えて人脈が広がったこと
- ・ 他町会の人と交流が持てる。
- ・ 活動をして知り合いの数が増え。町会活動、子育て、仕事の助けになった。
- ・ 今まで知らない方と交流できた
- ・ 親睦を深められる
- ・ 祭り、子供縁日などの活動で、地域の人との交流ができる。
- ・ 知り合うきっかけになる
- ・ 沢山のひとと知り合って良いひとと巡り会えた
- ・ 会員間のコミュニケーション
- ・ 企業とのコミュニケーションがとれる。
- ・ 地域の人々の温かみに触れることができ、それが仕事にメリットももたらしている

- ・ 町会内および地域の連携・体感、コミュニケーション
- ・ 地域の祭礼、イベントに参加、手伝を通じて他町会の青年部の方々との交流が出来る。
- ・ 町会の内部、他町会との交流、祭りでの他団体との交流。多くの仲間ができた。
- ・ 歴史を知る。先輩方との交流が多く幅が広がる。他町会との交流を増えていきやすい

② 文化・伝統の継承

- ・ 神田の文化を担うということの重要な行事に参加できること
- ・ 古き良き伝統の継承を担っている感
- ・ 例祭については伝統と歴史を感じ取れること
- ・ 神田祭における一体感の醸成
- ・ 文化の継承
- ・ ●●●●●●町会では神田祭が町会内での最大行事とされております。そこに参加をしてもらう事で長年の歴史を感じてもらえる事が出てきていると思います。また年齢に関係なく交流をはかる事が出来る場だと思っています。
- ・ 歴史を知る。先輩方との交流が多く幅が広がる。他町会との交流を増えていきやすい（再掲）

③ 青少年・次世代との関わり

- ・ 青少年との交流が出来ていること
- ・ 親、祖父母の故郷に貢献できたこと、次の世代の子供達の故郷を守れてると感じられること

④ 企業・法人との連携・地域貢献

- ・ 町会内の企業との交流町会内の企業者と企業者の連携特に町内にホテルが3ヶ所ある為お互い利用し合っている
- ・ 以前より住民が少ない町会ですが、法人町会員が祭礼を通じて積極的に参加し交流して頂いている
- ・ 企業さん達との交流
- ・ 法人会員として参加する立場ではありますが、町会内でのつながりができたことは大きな収穫でした。普段あまり接点のない地域の方々とも顔見知りになり、地域への理解と親しみが深まりました。加えて、法人として地域貢献の一端を担えたことにも、大きな意義を感じています。

⑤ 行政・情報共有

- ・ 近隣町会との交流ができた。行政との距離が近くなった。
- ・ 地域とのコミュニケーションが取れるようになり、行政等の情報が共有できる。
- ・ 町会員や他町会の町会費、行政関係者との交流を通じてさまざまな知識を得た。

⑥ イベント・祭礼の活性化

- ・ 祭礼を通して町会内のつながりが広がったり強くなったりしているのは良い。
- ・ 地域住民が参加して非常に盛り上がった
- ・ 祭礼を中心に大変ですが年齢差は関係無く、みんなで力を合わせ伝統の神田祭で交流し楽しみながら活動をしています。
- ・ 久しぶりに町会バス旅行や神田川クルーズ、暮れの夜警等、皆が協力して運営できたこと

⑦ 安全・防災・情報発信

- ・ 祭りの際若い世代に継承できる。防災訓練で各自の持場確認かできる。
- ・ LINE 配信や HP を通じてマンション居住者にも広く情報が届くようになり、良かったと感じている。また、近年 30～40 代の若手が積極的に携わってくれるようになりうれしく思っている。

⑧ その他

- ・ 準備は大変ですが、仲間とやりきった達成感
- ・ 住んでいた方から宮元睦を作って加入することで町会に顔を出しやすくなったと言われた(祭礼含む)

(2) 問 19 「青年部等の負担が大きいもの」

① 人手不足・少人数による負担

- ・ 全ての活動で人員不足
- ・ 青年部の人数が少ない
- ・ 部員が少ないので、段取り作業等が多い
- ・ 人数が少ないため部員の負担が大きい
- ・ 人数が少ないうえにみんな歳を取ってきて体力的にキツくなってきた
- ・ 若い人が参加していただけない
- ・ 青年部のコアメンバーが少なくても役割が一部の人たちに偏りがちであること。
- ・ 人手不足
- ・ イベントを手伝う人数が足りない
- ・ 人員が少ない、若手がない
- ・ 中心的に活動してる
- ・ 祭りに向けたイベントや青少年部独自イベントにおいては担当するスタッフに限られ、積極的に参加してもらうための動機付けに工夫が必要と感じている。
- ・ 祭りの役割分担やイベントなどで急な事態の時に、皆現役の人が多く対応が難しい。
- ・ すべて大変です。

- ・ 在勤者で成り立っているが、日中や土日に活動せざるを得ないものも多く活動そのものが負担になっている。
- ・ 町会員、青年部員自体の人数が少なく全ての活動において負担が大きい。当町会はマンション等住居が少なく、在町会企業の参加をお願いしても積極的なところがほとんどいない。

② 組織運営・役割分担の課題

- ・ 作業の分担ができず決まった人だけの負担が大きいです
- ・ 活動自体には意義を感じていますが、限られたメンバーで役割を担っているため、負担感につながっているのが実情です。現状は何とか活動が回っているものの、このままではいずれ行き詰まることが懸念されます。持続可能な体制の構築に向けては、従来の青年部の考え方やあり方そのものを見直し、柔軟に変革していく必要があると感じています。こうした課題は青年部に限らず町会全体にも共通しており、住民主体というこれまでの町会組織の在り方にも、今まさに限界がきていると感じます。
- ・ 時間と金のリソースおよび人間関係がいろいろ大変

③ 平日日中・休日の拘束時間

- ・ 平日の日中での打合せが多い
- ・ 祭礼：お神輿の運営は青年部で行っているが、お祭りに詳しい人の高齢化や若手の興味がそこまで高くないことにより青年部幹部に負担が集中している。また平日日中にやらなければならないことがいくつかあり、ほとんどがサラリーマンになっている現状では時間を作るのが難しい。
- ・ 多くの交流は大切ではあるが、時間をたくさん使う。平日昼間の町会活動は正直困る。

④ 高齢化・青年部への依存

- ・ 町会の高齢化により、イベントにおける買い出し、設営、運営などは青年部で担っている
- ・ 神田祭の様々な対応（警察への届出書類の作成）、各種準備を今期から長老メンバーより引き継いだこと。他の行事も、高齢者が多く、青年部が活動の主体となり、意外と時間が拘束されること。
- ・ 町会の年齢構成比率で高齢者が非常に多くなっております。その為青年部員がこなす役割が多いと感じます（一人何役もこなさなければなりません）。
- ・ 会社員など固定で拘束される時間が長い中で、活動を進めていくのはなかなか難しいものがある。全体の平均年齢層が高くなる中で、比較的若いと思われる青少年部に対する要望が集中する。

⑤ 仕事・家庭との両立の困難

- ・ 青年部の部員は仕事や子供が小さい子が居る為、出れるメンバーが固定して居るので一部の人に負担が集まり大変です。
- ・ 1.祭礼は町会の高齢化により、青年部への負担が大きい。2.イベントが多く、こちらも青年部員しか動けずに、負担が大きい。3.他町会との交流、イベントへの参加要請が多く、土日をつぶすことが多い。4.家庭持ちの青年部員にとって町会関連活動への理解が得られにくい。
- ・ 仕事の合間に活動をするのでその調整、体力、気力を、つづける事が負担になる。
- ・ 祭礼やイベントにおける拘束時間の長さ。祭礼・イベント時に我が子と一緒にお客としての立場で過ごせる時間の確保が難しい面がある。
- ・ サラリーマンは昼間仕事をし、飲食店等は夜仕事をし、空いた時間でそれ以外の事柄をやっていくのは誰にとっても負担だと思う。時間外作業や休日やらなければならない事柄であったり、朝の作業であったり。特に祭り事は近年負担の大きいイベントの1つだと思う。拘束時間や力仕事など慣れない動きも多いと思う。
- ・ 祭礼やイベントでは準備、当日、片付けで多くの休日が奪われるため、子育て世代には家族へのケアも必要となる。
- ・ 実働が青年部の部分が多く、また青年部はそれぞれ仕事があるため、休日や平日の仕事外の時間を多く取られる事がある。
- ・ 青年部の部員は仕事や子供が小さい子が居る為、出れるメンバーが固定して居るので一部の人に負担が集まり大変です。
- ・ 町会運営を仕事の両立に難がある。出れる人、出れない人との差がありすぎる。

⑥ 祭礼・イベントの準備・運営負担

- ・ 祭礼：お神輿の運営は青年部で行っているが、お祭りに詳しい人の高齢化や若手の興味がそこまで高くないことにより青年部幹部に負担が集中している。また平日日中にやらなければならないことがいくつもあり、ほとんどがサラリーマンになっている現状では時間を作るのが難しい。(再掲)
- ・ 1.祭礼は町会の高齢化により、青年部への負担が大きい。2.イベントが多く、こちらも青年部員しか動けずに、負担が大きい。3.他町会との交流、イベントへの参加要請が多く、土日をつぶすことが多い。4.家庭持ちの青年部員にとって町会関連活動への理解が得られにくい。(再掲)
- ・ 祭礼神田祭について準備から事後処理まで相当な時間を要する。また、各作業の人手の手配が負担大。イベントと区民体育大会各作業の人手の手配のほか、買い出し、資機材・用具の準備が負担大。
- ・ 神田祭は皆が力を入れているので、日本一の文化活動でもあるので負担は大きい。納涼は事前練習や設営等の負担が大きい。
- ・ 祭礼:力仕事が多いです。ほかは何とも表現出来ません。

- ・ 神田祭：半纏作り、扇子作り、寄付板作業、町会打合せ、近隣町会打合せ、連合打合せ、同好会半纏合わせ、神輿蔵出し入れ、町会直会、連合直会、など。イベント(子供広場プール祭)：企画、準備、青年部と婦人部での打合せ、買出し、ポスター作成、ポスター掲示、町会員案内(法人含め)、チケット作成、道具出し、イベント案内、打ち上げ、など。年末夜警：打合せ、道具準備、巡回同行、後片付け、など
- ・ 祭礼、イベント等につけて、人員、活動能力等の捉により青少年部単独の活動は無理があり、町会全体の活動に参加するのが常である。
- ・ 祭礼やイベントでの平日の負担が大きい時がある。
- ・ 祭礼の準備に係る時間的負担。募金集めに係る時間的、精神的負担。イベントの準備に係る時間的負担。
- ・ 準備から片付けまであの負担が大きい
- ・ 力を入れている分負担は大きい。ネガティブな意味でチェックを入れていない
- ・ やはり祭礼と町会イベント。伝統文化継承する為の準備に相当な時間と労力がかかる為
- ・ 参加人数も多く、期間も長いいため作業する時間と工数は少なからず負担が掛かる

⑦ その他イベント

- ・ 神田祭：半纏作り、扇子作り、寄付板作業、町会打合せ、近隣町会打合せ、連合打合せ、同好会半纏合わせ、神輿蔵出し入れ、町会直会、連合直会、など。イベント(子供広場プール祭)：企画、準備、青年部と婦人部での打合せ、買出し、ポスター作成、ポスター掲示、町会員案内(法人含め)、チケット作成、道具出し、イベント案内、打ち上げ、など。年末夜警：打合せ、道具準備、巡回同行、後片付け、など(再掲)
- ・ イベント数の多さ(年間)、昔と違い、各家庭での行事も多いので、町会に対する参加意欲がない、「神田祭」だけは別格でこれに対する魅力があるので、「これのみ」の参加が多い。
- ・ 祭礼、バーベキュー大会、年末パトロールは(納涼大会)青年部主体なので。

⑧ その他

- ・ 統計調査等はいやがる。
- ・ 負担は多い、大きいがマイナスに感じた事はない。

(3) 問 20 「これから実施してみたい取組み・活動内容」

① 青年部独自の企画・イベント

- ・ 色々な活動を青少年部単独で企画立案し、実施出来るようにしたい
- ・ 青年部発かつ独自の新規イベント

- ・ ボッチャ大会、モルック大会

② 地域交流・他町会との連携

- ・ 他町会の青年部との交流
- ・ 他の地区の人達とコミュニケーションを取り、お祭りで他の地区と楽しみたい
- ・ 他町会と連携を図って子供達のイベントを行うこと（●●●●●●●●以外のイベント）
- ・ 町会構成員の交流の拡大
- ・ 他町会の青年部との交流

③ 若年層・部員の参加促進

- ・ 活動できる部員を増やしていきたい
- ・ 淡路町二丁目町会では今まで積極的に青年部員を増やそうとしていなかったと思います。今後は若い世代（20歳代）に参加しやすい環境を整える事が出来ればと考えております。
- ・ 前項でもありましたが、若い世代の加入が必至。活性化イベントを充実させたい

④ 地元企業・法人との連携

- ・ 地元企業との交流会
- ・ 町内の企業にも祭りなどに気軽に参加してもらえようようなアプローチを行っていききたい。
- ・ 在町会の企業に積極的に町会活動に参加をもとめて行きたい
- ・ 現在抱える課題に対しては、法人会員として青年部活動への参加を積極的に促進し、担い手不足の解消を図っていききたいと考えています。町会が住民の自治組織であるという歴史や伝統は大切に継承しつつ、地域に居住していない法人（会社員）でも参加しやすい活動形態へと切り替えることも、有効な方法の一つだと考えています。こうした多様な人材や視点を取り入れることで、より柔軟で持続可能な組織運営を目指していききたいと思います。
- ・ 近隣マンションや企業さんとのコミュニケーションの出会いの場が増えればと。神田の町全体の問題かと。

⑤ 文化・伝統の継承

- ・ 太鼓囃子など地域の伝統を伝えるワークショップ
- ・ 町内子供たちへの文化的イベント

⑥ 防犯・防災・安全活動

- ・ 防犯や防災で、デジタルで連絡ができるようにしたい
- ・ 防犯、パトロールに関する活動を行いたい
- ・ 盆おどり、防災練習

⑦ イベントの拡充・新しい取り組み

- ・ 体育大会以外の連合町会対抗戦、又 岩本町東神田連合内での町会対抗戦

- ・ 町会イベントを開催したい
- ・ 町会員との交流を目的とした活動
- ・ 町会員全員が参加できるイベント(もちつき)など
- ・ 個人的には仲間作りを目的とした活動に興味があります。●●●●●●●●●●を広げて行くというのがありますが…。各地区内だけではなく、●●●●●●●●●●のように他地区との繋がりであったり、地区内での青少年部会の発足であったりもそうですね。

⑧ その他

- ・ 今以上に活動の幅を広げすぎると負担が更に増える
- ・ 現在の活動で充分
- ・ 今以上に活動の幅を広げすぎると負担が更に増える。

(4) 問 35「青年部の現状、課題、今後の活性化に向けて必要だと思うこと、必要な支援、また町会の全般について、現状やこれから、必要な行政の支援策」

① 人材不足

- ・ 人員や能力により青少年部単独での活動には困難があり、町会全体の活動となっている。
- ・ 年々平均年齢が上がる中で、知見のある人の意見をくみ取りながら運用を続けているという状況です。また、過去自営業の方を中心に動いていたと思われる組織が会社員比率も上がることで動きに自由度がなくなってきているなど感じます。ただ、私は今年から青少年部長をやっていますが、部員たちの協力体制は非常に高いので短期間であれば続けていくことはできると思っています。とはいえ、最大の課題はやはり人数&若手不足(青少年部だけでなく、町会全体でも同様)であり、ここは町会単体でなかなか改善に向かえないなど感じます。居住者増は基本的にマンションに住む方々ですが、そこへの個別アプローチというのは非常に敷居が高いです。そういったところを行政の方々のルール決め・支援でフォローいただければ各町会求めている、ありがたいのではないかと思います。祭礼など、せっかくの地域特性のあるイベントも、「参加する」ではなく「運営する」目線のメンバーが増えないと廃れる一方だと思っていますので、関連する人をどう作っていくかについて現場と行政で考えていければ良いですね。
- ・ 町会にとって青年部は大きな核であり活発な活動をすることが一番だと思います。その青年部はほぼ子育て世代で人生でも一番家庭を大事にしなければならない時や時間を犠牲にしています。現代の若者はメリットがないと参加しない人が多いため、町会所属の青年部員で子育て世代に育成手当などの助成金があるとありがたいです。マイナンバーと紐付けて、町会青年部員の子育て世代に申請もなく自動で助成

してもらえシステムを作ってほしい。少子化対策にも繋がり、区民の人数も増え、活発化し、伝統文化の継承にもつながり、良い事しかないと思います。是非ご検討ください！

- ・ まずは何よりも担い手が少ないのが問題だと考えます。住人・企業問わず広く一部イベントだけでも参加出来るような仕組みや支援が欲しいです。「地域に貢献する」と言った心意気を持つ方を待つだけではこの先先細りしか無いのではと思います。なので一定の町会活動に参加した場合、行政側から何かしらのメリットを（例えば何かしらの優遇措置）提示してもらうなりの支援をご検討頂きたいです。
- ・ 現状の祭礼や地域のイベント運営については、人手がやや少ない場合もあるが、問題なく遂行できている。課題としては20-30代など若手の青年部員が増加しないことに課題を感じていて、その世代が求める地域コミュニティへの期待や要望などを把握できていない。
- ・ 今後の事を考えると青年部員を少しでも増やしたいと思う。その目標の中で地区連合で青年部会等を行政で開催してもらうのも良いかと思えます。
- ・ 町会役員はもとより、青年部も高齢化しています。昔みたいに、二代目、三代目が家業を繋ぐことも少なくなっています。特に人口の少ない千代田区にとって、単会での活動は難しいことが多く、いくつか町会の合併も必要かと。
- ・ 当町会はとにかく町会員、青年部員が少なく固定された人たちで運営している。当町会にはマンションがほぼなく、企業の方々に是非協力していただきたい。このままでは町会員、青年部員の増加は見込めなく。将来、活動が出来なくなることになる。
- ・ 課題-人材の補充：マンション住人 企業からの参加

② 財政支援

- ・ イベントごとの財政支援。特に、遊びではなく、防災防犯、地域のコミュニケーションをはかる為の予算をつけて欲しい。
- ・ デジタル化推進にはシステム使用料などランニングコストがかかるので、それを恒久的に補助してもらえると、更に推進できる
- ・ ①物価高騰により助成金の引き上げ、②みこし蔵の確保、③町会倉庫の増加、④高齢者への支援
- ・ 私の町会はマンション住民含め優秀な若手人材が青年部として活動しており、人材面での課題や不安はありません。一方で、従前のようなビルオーナー等、町会に多額のお金を出せる人は減っています。町会会計の剰余金残高が毎年目減りしています。特に神輿など維持管理により簡易に金銭的、財政的な支援がなされると良いかと思えます。
- ・ ●●●●●●●●●●に予算をください！ スポンサー企業を紹介してください！
日比谷公園で決勝戦をやりましょう

- ・ とにかくイベントが多いので、負担が大きいです皆ボランティアで動いているのでお昼代ぐらいは出せるようにしたいです

③ 加入促進

- ・ 先日の青年部会議でも出ていましたが、町会員になるメリットを求めている方が多くいらっしゃると思います。特に新たに区外より引っ越されてくる方々だと思えます。町会に入ってくれるとこんなサービスがあるとか、町会活動の見える化も必要なのかなど。マンションに関してはワンルームを減らして家族で住めるスペースを増やしていかないと、結婚や出産と共に引っ越しをされてせっかく繋がりを持っていても離れてしまうという事が多くあります。土地柄値段は高くなってしまふのかもしれませんが猿楽町では1つのキーだと思っています。ワンルームが乱立してきて顔の見えない治安の悪さや、中国人の増加、丸々買い取る中国や香港、台湾等の投資家……管理人が居ない、管理会社がすぐに代わって連絡も取れないなんてしょっちゅうです。
- ・ 町会員を増やす上で、町会の存在意義、町会がなぜ必要かを説明するための材料・情報を増やしたい。
- ・ 町会員が、ここ10年~20年増えている町会は、ほとんどないので町会に加入すると。税金が安くなるなど実質的な、メリットを考える事。いくらお願いしても無理だと思います。
- ・ 町内住民、町内企業が町会に加入する経済的なメリットを行政が提供してほしい。
- ・ 特にマンションの新規住民に対するアプローチに悩んでおり、行政としての広報・啓蒙活動や他町会事例の紹介などの支援があると嬉しいと感じます。
- ・ 20代で单身、この地域に住むのはむずかしい。1番は家賃の問題。例えば地域活動への協力をする事、前提で補助を出すなど良いかもしれません。

④ 区への要望

<災害時対応>

- ・ 災害発生時、帰宅困難者に対する町会としての支援を検討したい。同様の事例や情報があればご教示いただきたい。

<青年部ネットワーク化>

- ・ 別添の「町会青年部ネットワーク強化に関する提案書」のとおりです。貴課におかれまして、区内の中堅若手層の地域活動への参加促進施策の検討に際し、ご参考となれば幸いです。

<区イベントの魅力化>

- ・ 区や行政のイベントももう少し魅力のあるものにしてほしい。四谷で行う運動会も青空宴会のようだし、議員の顔見せになっているので。

<場所の確保>

- ・ 千代田区という地価のとても高い地域における町会活動で一番問題になるのが、活動する会議室や備品を保管する倉庫などの確保です。私費で確保するのは難しく、行政施設の提供を是非お願いしたいです。
- ・ 町会内の話し合いをする場所、町会備品の保管にも使える、公民館みたいな場所が、町会内にあったら良いと思う。

<デジタル化支援>

- ・ ハード以外のソフトのデジタル支援、ペーパーレス化に向けた、町会への働きかけ

<人的支援>

- ・ イベントコーディネーターの紹介があると助かります。
- ・ 祭礼やイベントなどに人がいない場合のお手伝いをお願いしたいです。例えば祭礼の時の交通整理、イベントのセッティング、片付けなど支援！ ただ一緒に楽しんで参加しながらの支援がベストです。

<手続きの代行>

- ・ 町会、婦人部の高齢化により相対的に青年部への負担が増えており、区だけでなく、警察、消防など様々な申請手続き等の代行業を支援頂くだけでかなり負担が違ってくる。

⑤ 住民の少なさ

- ・ 住民が少ないが増えようが無い。
- ・ 町会在住者の減少(すべての事に関して影響)
- ・ 住人数は増加しているが町会員は減少している。町会の役割を明確にして住民相互の連携を高める手助けをして欲しい。
- ・ 駅前立地で居住者がほとんどおらず、マンションもなく、大企業もなく。エリアも大きくなく、地縁者の在勤者および一部の居住者により活動。町会員はエリアのビルオーナーが主でエリアに対する好感度は高く町会費負担や年数回の懇親には協力的である。町会内の窓口、連携、地域との関わりの一翼として一定の役割は果たしていると思うが、担い手不足が課題で、エリアのパイが狭いことから町会合併、連携を視野に入れつつも、神田神社氏子 108 町会といった地域のまとまりの核になるものは壊してはいけないだろうと考えている。

⑥ 町会の存在意義・立ち位置

- ・ アンケート質問文章で気になったが、行政が依頼をする相手は町会であって青年部ではないと思う。そもそも町会の役割がみんなに伝わっていない。町会長も忙しそうであり前のめりでない気がするし、いろいろ役割が集中している気がする。当町会は市街地でとにかく住人がいないので、住人を中心に活動させるのは難しい。企業の方で積極的な方にも参画してもらおう方向で推進したいので、町会の定義などを柔軟に考えてほしい。ヒアリングをするなら委託事業者ではなく（時間はかかっても）区役所の職員の方に携わってほしいと思う。

- ・ 町会内の立ち位置があいまいで、町会全体の役員数、協力者数が少ないため、いつもの町内活動は役員総出で行っているため、イベントの手伝い支援を町会員にもしてもらえそうな体制作りを支援して欲しい。また、町会予算が少なく、できることが限られてしまっており、イベント等への全体的支援も欲しい。
- ・ 住人数は増加しているが町会員は減少している。町会の役割を明確にして住民相互の連携を高める手助けをして欲しい。
- ・ 私は千代田区に転居して4年、町会に加入して1年です。その上で申し上げますと、町会の存在はとても貴重だと思います。その反面いざ加入するとなると勇気と覚悟が必要に感じたのも事実です。私主観的な意見ですが、町会の存在意義は『地域生活の安全安心の維持』の為だと考えております。その普遍的な価値をもっと主張して、柔軟に繋がる選択肢を増やせば、より多くの方々の支持を得られるのかと思います。町会の維持の為の支援ではなく、日常生活の安全安心の維持に効果的な町会組織の構築に対する支援が必要だと考えます。

⑦ 町会の広報の強化・きっかけづくり

- ・ 1、「顔がみえる町会」化。新しいご家族が最初に思うことの一つは、町会活動に参加してみたいけどどんな人たちなの？ 地元で固まってないの？ といった疑問。区の広報誌やHP等公的サイトで各町会の特集を掲載し、「顔がみえる町会」化の助けになると良い。
- ・ 2、子どもボランティア活動賞 子供たちに積極的に町会イベントに参加してもらうためのモチベーション作りと、参加した人が何らかの形で報われることが目的。小学校等で、地元イベントに参加した児童を表彰するような簡易的な枠組みがあると良い。
- ・ 新住民、新労働者が町会に興味を持つきっかけが欲しい。
- ・ 当町会はタワーマンションの住民、消防署の独身寮、大規模オフィスビルのテナントが構成員となるため、他の町会とは事情も異なりますが、やはりマンションの住人が町会活動へ関心を持ってもらうことが、今後の地域活動や相互のコミュニケーションにとって重要であり、これが地域の防犯、防災対策にも結びつくと考えていますので、引き続きご支援の程よろしく申し上げます。
- ・ 現状町会青年部に所属していただいている方は地元の方ではありません。課題としては部員を増やせたらとも思いますが、、、、今後は少ない人員ですが、町会イベントなどを開催し、少しでも町会の魅力などを伝えていけたらと思います。

⑧ これからの町会について

- ・ 出張所の皆様は非常がんばっていると思います。●ヶ町連合について自分の考えを書かせて下さい。私はこの運営を続けていくのは難しいと思います。持ち回りでリーダーがかわります。●ヶ町全体のリーダーをするのは大変な労力が必要であ

り、頭にたった町会にそれだけの強いリーダーがいるとは限らないし、支えてくれる仲間がいるとは限りません。

⑨ その他

- ・ 私は住民ではなく法人会員という立場から、町会（青年部を含む）のあり方を、別の視点で捉えて考えていきたいと考えています。今後、町会活動を持続可能なものにしていくためには、町会の区域にとらわれず、人や企業の地域への関わりを柔軟に受け入れる姿勢が必要です。人や企業を特定の町会に囲い込むのではなく、より広域的に人材や協力を確保していかなければ、各町会の活動自体が行き詰まる恐れがあります。特に法人にとっては、町会という限定的な枠組みよりも、連合町会など広域での活動の方が、地域貢献としての意義や認知度の向上といった点で利点を感じやすいと考えます。法人会員として町会に属しつつも、連合町会の賛助会員制度を新たに設けるなど、現状よりも広域に地域活動へ参画できる仕組みも検討の余地があるのではないのでしょうか。
- ・ この町内にも区役所勤務の人がいるが、全く手伝う事なく、飲み会に参加しては、まわりを気にせずに飲食する。区役所勤務の方がもっと地域に根づき交流を深めると行政と地域がもっと近くなると思う。

資料① 集計データ

青年部向け 町会活動に関するアンケート結果 集計表

いずれも令和7年4月1日現在についてお答えください。

【青年部の組織体制についてお伺いします】

問1 青年部の活動はどのようにされていますか。(〇は1つ)

単一回答		n	%
	全体	(71)	
1	1. 青年部またはそれに準ずる部や委員会があり、名簿を作って所属メンバーを把握し、活動している	26	36.6
2	2. 青年部またはそれに準ずる部や委員会があり、全体名簿はないが、よく参加する人たちの連絡網やLINEグループ等があり、そのメンバーで主に活動している	24	33.8
3	3. 青年部長はいるが、メンバーは定まっておらず集まった人で手伝っている	7	9.9
4	4. 青年部の活動をするメンバーが明確に定まっていない	3	4.2
5	5. 青年部またはこれらに準ずる部や委員会はない	7	9.9
6	6. その他	2	2.8
	無回答	2	2.8

《青年部長について》

問3 青年部長の年代について教えてください。(〇は1つ)

単一回答		n	%
	全体	(71)	
1	1. 20歳代以下	0	0.0
2	2. 30歳代	4	5.6
3	3. 40歳代	18	25.4
4	4. 50歳代	28	39.4
5	5. 60歳代以上	13	18.3
	無回答	8	11.3

問4 青年部長の現在の職業を教えてください。(〇は1つ)

単一回答		n	%
	全体	(71)	
1	1. 会社員・団体職員	33	46.5
2	2. 公務員	2	2.8
3	3. 自営	24	33.8
4	4. 無職	1	1.4
5	5. その他	3	4.2
	無回答	8	11.3

問5 青年部長として、または青年部として引き受けている行政からの役割はありますか。

単一回答		n	%
	全体	(71)	
1	1. ある	9	12.7
2	2. ない	45	63.4
3	3. わからない	10	14.1
	無回答	7	9.9

《青年部等について》

問6 青年部のおおよその人数を教えてください。

単一回答		n	%
	全体	(57)	
1	1 1～5人	14	24.6%
2	2 6～10人	18	31.6%
3	3 11～15人	7	12.3%
4	4 16～20人	10	17.5%
5	5 21～25人	3	5.3%
6	6 26～30人	2	3.5%
7	7 31人以上	3	5.3%

問7 活動者の年齢のおおよその人数を教えてください。

■区内全青年部員の年齢構成

単一回答		
	n	%
全体	(730)	
1 20歳代以下	45	6.2
2 30歳代	107	14.7
3 40歳代	242	33.2
4 50歳代	228	31.2
5 60歳代	91	12.5
6 70歳代	16	2.2
7 80歳以上	1	0.1

■青年部員の加重平均年齢

単一回答		
	n	%
全体	(58)	
1 40歳未満	4	6.9
2 40歳～45歳未満	5	8.6
3 45歳～50歳未満	20	34.5
4 50歳～55歳未満	12	20.7
5 55歳～60歳未満	10	17.2
6 60歳以上	7	12.1

問8 活動者のおおよその割合を教えてください。

■町内に居住する部員の割合

単一回答		
	n	%
全体	(54)	
1 2割未満	3	5.6%
2 2割～5割未満	13	24.1%
3 5割～8割未満	16	29.6%
4 8割～10割未満	12	22.2%
5 10割	10	18.5%

問9 活動者の男女のおおよその比率を教えてください。

■部員に占める男性の割合

単一回答		
	n	%
全体	(57)	
1 2割未満	0	0.0%
2 2割～5割未満	2	3.5%
3 5割～8割未満	8	14.0%
4 8割～10割未満	26	45.6%
5 10割	21	36.8%

問10 現在、青年部等に参加している人が、部に加え（参加）するきっかけとなったものとして多いものはどれですか。上位3つまでお選びください。（〇は3つまで）

複数回答		
	n	%
全体	(71)	
1 1. 家族からの声かけ	22	31.0
2 2. 知人・友人からの声かけ	35	49.3
3 3. 子どもの関係（PTA、行事など）	25	35.2
4 4. 町会加入をきっかけに紹介された	36	50.7
5 5. その他	18	25.4
無回答	7	9.9

【青年部等の運営についてお伺いします】

問11 青年部等のメンバーへのお知らせや情報共有はどのように行っていますか。(〇はいくつでも)

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 掲示板	7	9.9
2	2. 回覧板	8	11.3
3	3. FAX	1	1.4
4	4. メール	19	26.8
5	5. LINE、SNS	64	90.1
6	6. その他	8	11.3
7	7. 特に行っていない	1	1.4
無回答		5	7.0

問12 青年部等の運営上のお困りごとはありますか。(〇はいくつでも)

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 青年部長の後継者がいない	29	40.8
2	2. 活動の担い手が固定化している	42	59.2
3	3. 青年部の構成員が増えない	43	60.6
4	4. 若年層のメンバーが少ない	54	76.1
5	5. 会議や打ち合わせ場所の確保が難しい	9	12.7
6	6. デジタル化など運営の効率化が遅れている	9	12.7
7	7. メンバーが忙しく、時間の調整や、活動時間の確保が難しい	36	50.7
8	8. 町会運営の実働を担っているため、やることが多い	26	36.6
9	9. 手続きなど、平日に稼働しなければならないことが多い	20	28.2
10	10. 活動記録や運営マニュアルが整備されていない	11	15.5
11	11. 区から依頼される町会の仕事の増加	4	5.6
12	12. 新しい取組みややり方などを変えることについての合意形成が難しい	9	12.7
13	13. 困りごとや課題をどこに相談したらよいかわからない	6	8.5
14	14. その他	5	7.0
15	15. 特にない	2	2.8
無回答		5	7.0

■町会規模別クロス集計

		n	%	n	%	n	%
全体(60)		50未満		50~100未満		100以上	
1	1. 青年部長の後継者がいない	4	36.4%	7	43.8%	10	30.3%
2	2. 活動の担い手が固定化している	4	36.4%	6	37.5%	21	63.6%
3	3. 青年部の構成員が増えない	6	54.5%	6	37.5%	21	63.6%
4	4. 若年層のメンバーが少ない	5	45.5%	11	68.8%	28	84.8%
5	5. 会議や打ち合わせ場所の確保が難しい	0	0.0%	3	18.8%	3	9.1%
6	6. デジタル化など運営の効率化が遅れている	0	0.0%	0	0.0%	4	12.1%
7	7. メンバーが忙しく、時間の調整や、活動時間の確保が難しい	3	27.3%	6	37.5%	20	60.6%
8	8. 町会運営の実働を担っているため、やることが多い	4	36.4%	4	25.0%	15	45.5%
9	9. 手続きなど、平日に稼働しなければならないことが多い	2	18.2%	1	6.3%	11	33.3%
10	10. 活動記録や運営マニュアルが整備されていない	2	18.2%	1	6.3%	4	12.1%
11	11. 区から依頼される町会の仕事の増加	0	0.0%	1	6.3%	2	6.1%
12	12. 新しい取組みややり方などを変えることについての合意形成が難しい	0	0.0%	2	12.5%	4	12.1%
13	13. 困りごとや課題をどこに相談したらよいかわからない	0	0.0%	2	12.5%	0	0.0%
14	14. その他[]	1	9.1%	1	6.3%	2	6.1%
15	15. 特にない	1	9.1%	1	6.3%	0	7.3%

問13 青年部等の運営や活動の中で工夫していることはありますか。あてはまるものをすべて 選んでください。(〇はいくつでも)

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 部の連絡網を作成している(電話・FAX連絡)	6	8.5
2	2. メール・LINEなどのSNSを活用して連絡をとっている	63	88.7
3	3. 町会イベントの参加(スタッフとして)の可否などを相互で調整している	41	57.7
4	4. 特定の人に負担がかからないようにしている	13	18.3
5	5. 会合の開催時間や方法を、参加しやすいように工夫している	22	31.0
6	6. 若い人のアイデアや声を取り入れるようにしている	24	33.8
7	7. 執行部との意見交換を定期的に行っている	20	28.2
8	8. 一部の活動だけの参加も可能としている	31	43.7
9	9. 役割を自分で選べるようにしている	8	11.3
10	10. 他の町会、地域活動の人と交流するようにしている	42	59.2
11	11. 地区内の町会に加入していない人と交流している	8	11.3
12	12. その他	2	2.8
無回答		5	7.0

問14 町会運営や活動においてデジタル化したいものはありますか。(〇はいくつでも)

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 町会回覧板	22	31.0
2	2. 青年部等内の連絡手段	12	16.9
3	3. 総会や役員会(リモート、資料、会議録)	20	28.2
4	4. 町会報(配信、過去のアーカイブ)	21	29.6
5	5. イベントの告知や参加申し込みの受付	29	40.8
6	6. 町会費の徴収	18	25.4
7	7. その他	3	4.2
8	8. 特になし	13	18.3
無回答		5	7.0

問15 町会運営におけるデジタル化について課題や困りごとはありますか。(〇はいくつでも)

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 機器を購入する予算がない	11	15.5
2	2. 回線使用料やライセンス使用料などの維持費を払う予算がない	14	19.7
3	3. ホームページやSNSの運用などの外注をする予算がない	15	21.1
4	4. ノウハウを持った人材がおらず、立ち上げ・開設ができない	18	25.4
5	5. ホームページやSNSの運用など、デジタル化の取組みが特定の人負担になっている	23	32.4
6	6. 会員間でデジタル化への対応能力に差がある	35	49.3
7	7. 何をデジタル化すればよいかかわからない	13	18.3
8	8. どんなツールがあるのかかわからない	14	19.7
9	9. デジタル化に取組んだが、更新などの運営や活用ができていない	5	7.0
10	10. 困った時やトラブルがあった時に、相談できる人がいない	6	8.5
11	11. その他	5	7.0
12	12. 特になし	12	16.9
無回答		4	5.6

問16 青年部等の活動が、今後どのようになればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

複数回答		n	%
	全体	(71)	
1	1. 世代を問わず参加できる	40	56.3
2	2. 自分の得意を活かせる	24	33.8
3	3. 仕事や暮らしの状況に合わせて参加できる	44	62.0
4	4. 地区の若い世代のつながりの核となる	39	54.9
5	5. 地域づくりやまちづくり、地域の課題解決に積極的に関わる	26	36.6
6	6. 他の町会とも活発に交流する	34	47.9
7	7. デジタルツールを使ったコミュニケーションを活発にする	21	29.6
8	8. 多様な活動・企業らと連携し、新しい企画を増やす	28	39.4
9	9. 地区の次世代リーダーが多く輩出される	23	32.4
10	10. その他	4	5.6
	無回答	6	8.5

【青年部等の地域活動についてお伺いします】

問17 青年部等としてかかわっているもので該当するものすべてに〇をつけてください。また、「力を入れているもの」と「負担が大きいもの」をそれぞれ3つ選び〇をつけてください。

	n	%	n	%	n	%
全体	(71)		(71)		(71)	
1 1. 祭礼	62	87.3	53	74.6	46	64.8
2 2. イベント	62	87.3	49	69.0	49	69.0
3 3. 仲間作りを目的とした事業、交流サロンなど	16	22.5	4	5.6	2	2.8
4 4. 高齢者の見守り活動、敬老活動	7	9.9	2	2.8	3	4.2
5 5. 地域で手助けが必要な人の見守り活動	4	5.6	1	1.4	2	2.8
7 7. 子育て支援に関する活動	2	2.8	0	0.0	1	1.4
8 8. 青少年育成に関する活動	9	12.7	2	2.8	0	0.0
9 9. 防災訓練	40	56.3	8	11.3	4	5.6
10 10. 清掃活動	28	39.4	5	7.0	4	5.6
11 11. 防犯、パトロールに関する活動	40	56.3	14	19.7	9	12.7
12 12. 緑化や花を植える活動	6	8.5	3	4.2	4	5.6
14 14. 新年会など懇親会	55	77.5	19	26.8	9	12.7
15 15. 各種広般に関する活動	17	23.9	5	7.0	5	7.0
16 16. イベントなどでの買い出し	46	64.8	9	12.7	10	14.1
17 17. その他①	9	12.7	9	12.7	7	9.9
18 その他②	2	2.8	1	1.4	1	1.4
19 その他③	0	0.0	0	0.0	0	0.0

問21 町会のイベントや活動などの実施について、課題やお困りごとはありますか。（〇はいくつでも）

複数回答		n	%
	全体	(71)	
1	1. イベントなどの開催ができない。または、回数が減ってきている	14	19.7
2	2. イベントの運営スタッフが少ない	45	63.4
3	3. イベントに参加するゲストが少ない	11	15.5
4	4. イベントの時だけ参加する人が多く、運営の負担となっている	16	22.5
5	5. イベントのコストが負担になっている	19	26.8
6	6. イベントの実施のみで終わっていて振り返りができていない	7	9.9
7	7. イベントの時だけ手伝ってもらえるなどの柔軟な運営ができていない	10	14.1
8	8. イベントの案内や情報発信が難しい、またはPRしたいがツールがない	5	7.0
9	9. ポスター・チラシなどをデザイン（作成）できる人がいない	6	8.5
10	10. イベントを実施する場所が不足している	16	22.5
11	11. 人数が少ない中で運営しているので、負担が大きい	42	59.2
12	12. 役割が固定化しており楽しめない	12	16.9
13	13. 道路使用や食品衛生等の申請手続きが大変である	21	29.6
14	14. 毎年同じことを実施しマンネリ化している	18	25.4
15	15. 企画や調整できる人がいない	11	15.5
16	16. 記録（写真や動画）する人がいない	13	18.3
17	17. アンケートなどができておらず、参加者のニーズがわからない	11	15.5
18	18. クレームなどの対応が大変である	7	9.9
19	19. その他	4	5.6
20	20. 特に、課題や困っていることはない	2	2.8
	無回答	6	8.5

■町会規模別

	n	%	n	%	n	%
全体(60)	11		16		33	
1	2	18.2%	3	18.8%	3	9.1%
2	5	45.5%	7	43.8%	22	66.7%
3	1	9.1%	6	37.5%	2	6.1%
4	0	0.0%	4	25.0%	7	21.2%
5	2	18.2%	5	31.3%	9	27.3%
6	1	9.1%	0	0.0%	3	9.1%
7	1	9.1%	4	25.0%	2	6.1%
8	0	0.0%	2	12.5%	2	6.1%
9	2	18.2%	3	18.8%	1	3.0%
10	0	0.0%	5	31.3%	7	21.2%
11	7	63.6%	10	62.5%	18	54.5%
12	2	18.2%	3	18.8%	3	9.1%
13	4	36.4%	4	25.0%	10	30.3%
14	3	27.3%	4	25.0%	8	24.2%
15	0	0.0%	3	18.8%	5	15.2%
16	0	0.0%	3	18.8%	6	18.2%
17	0	0.0%	4	25.0%	6	18.2%
18	0	0.0%	0	0.0%	3	9.1%
19	1	9.1%	1	6.3%	0	0.0%
20	0	0.0%	0	0.0%	1	3.0%

問22 イベントの企画・運営や今後の青年部の活動において、連携を深めたい団体はありますか（「その他」は、行政機関を除きます）。（〇はいくつでも）

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 商店街（商店会）	13	18.3
2	2. マンションの管理組合・自治会	34	47.9
3	3. 小中学校、PTA	21	29.6
4	4. 大学、高等学校、専門学校（学生を含む）	24	33.8
5	5. 社会福祉協議会	11	15.5
6	6. 消防団	7	9.9
7	7. 町会内の企業・事業所	49	69.0
8	8. NPO	4	5.6
9	9. ボランティア団体	6	8.5
10	10. 地縁によらない活動団体	4	5.6
11	11. その他	6	8.5
無回答		11	15.5

【町会活動の課題やこれからについてお伺いします】

《地域課題について》

問23 現在、町会において、あなたが考える、特に重要な地域課題はどのようなことですか。特に重要だと思うものを3つ選んでください。（〇は3つまで）

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. ひとり暮らし高齢者	7	9.9
2	2. 地域の安全対策や防犯	26	36.6
3	3. 地域の防災	24	33.8
4	4. 災害時の要援護者支援対策	12	16.9
5	5. 子どもや青少年の育成	17	23.9
6	6. ごみの出し方や資源の持ち去りなど	8	11.3
7	7. 来街者のポイ捨て対策など地域の美化	11	15.5
8	8. 空き家の増加や空き家対策	1	1.4
9	9. 住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化	31	43.7
10	10. 活動への協力・参加が少なく町会に対するニーズに対応できないこと	11	15.5
11	11. マンションに関する問題	13	18.3
12	12. 外国人住民とのコミュニケーション	2	2.8
13	13. 祭礼文化の継承	47	66.2
14	14. その他	4	5.6
無回答		3	4.2

問24 町会の役割、存在意義として大切なことは何だとお考えですか。特に大切だとお考えのことを3つまで選んでください。（〇は3つまで）

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 地域のつながりの基盤となること	39	54.9
2	2. 会員の親睦を深めること	26	36.6
3	3. 伝統を守り、次世代につなげること	22	31.0
4	4. 地域が盛り上がる行事・イベントを行うこと	17	23.9
5	5. 地域の安全を守ること	15	21.1
6	6. 災害への備え、災害への対応を強化すること	21	29.6
7	7. 暮らしやすい環境づくりを進めること	6	8.5
8	8. 住民と行政との連携を進めること	11	15.5
9	9. 地域内の調整役となること	3	4.2
10	10. 地域の魅力・価値を高めること	11	15.5
11	11. 祭礼文化を継承していくこと	41	57.7
12	12. その他	2	2.8
無回答		3	4.2

《町会活動のこれからについて》

問25 青年部等として、これからの町会についてどのようにお考えですか。一番近いものを1つ選んでください。(○は1つ)

単一回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 町会内地域の全員参加が理想なので、全員参加を目指し町会をよりよいものにした	6	8.5
2	2. 町会には、新しい人の中でも共感や賛同してくれる人に参加してもらいたい。新しい人への働きかけを強化し、そうした人の参加を促し、会員数を増やしたい	37	52.1
3	3. 現状の活動や規模を維持するため、効率化や役割分担などの運営の見直したうえで、新しい人の働きかけをしていきたい	15	21.1
4	4. 現状の中で、加入者減や現状の活動を維持できないのは仕方ないと思っている。これから縮小しながらも、なるべく運営が持続できるようにしたい	7	9.9
5	5. 現状の中で、加入者減や現状維持できずに、このまま町会活動が縮小していくのもいたしかたない	2	2.8
無回答		4	5.6

《祭礼文化の継承について》

問26 祭礼は地域コミュニティの求心力であり、地域コミュニティの核である町会にとっても重要ですが、祭礼文化を継承していくにあたり、課題となっていることは何ですか。青年部等として特に課題に感じるものを3つまでお選びください。(○は3つまで)

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 神輿の保管場所がない	2	2.8
2	2. 神酒所や御飯屋の場所がない	15	21.1
3	3. 町会内でお祭りの段取りを知っている者が少なくなっている、またはいない	26	36.6
4	4. 町会内に神輿の担ぎ手が少ない、またはいない	20	28.2
5	5. 役割を分担できる人が少ない、またはいない	28	39.4
6	6. サポートしてくれる人・団体等が少ない、またはいない	10	14.1
7	7. 名目が「祭礼」だと企業の協力が得られない	0	0.0
8	8. 祭礼文化を継承する次の世代が少ない、またはいない	38	53.5
9	9. 祭礼文化の継承に関わる装束や飾りつけ等に経費がかかる	13	18.3
10	10. その他	11	15.5
11	11. 特に、課題に感じることはない	4	5.6
無回答		4	5.6

■町会規模別クロス集計

	n		%		n		%		n		%	
	50未満		50~100未満		100以上							
全体 (60)	11		16		33							
1 1. 神輿の保管場所がない	0	0.0%	0	0.0%	2	6.1%						
2 2. 神酒所や御飯屋の場所がない	1	9.1%	3	18.8%	8	24.2%						
3 3. 町会内でお祭りの段取りを知っている者が少なくなっている、またはいない	3	27.3%	2	12.5%	17	51.5%						
4 4. 町会内に神輿の担ぎ手が少ない、またはいない	2	18.2%	4	25.0%	10	30.3%						
5 5. 役割を分担できる人が少ない、またはいない	3	27.3%	6	37.5%	15	45.5%						
6 6. サポートしてくれる人・団体等が少ない、またはいない	1	9.1%	2	12.5%	5	15.2%						
7 7. 名目が「祭礼」だと企業の協力が得られない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%						
8 8. 祭礼文化を継承する次の世代が少ない、またはいない	3	27.3%	8	50.0%	18	54.5%						
9 9. 祭礼文化の継承に関わる装束や飾りつけ等に経費がかかる	1	9.1%	4	25.0%	6	18.2%						
10 10. その他	0	0.0%	4	25.0%	3	9.1%						
11 11. 特に、課題に感じることはない	3	27.3%	1	6.3%	1	3.0%						

問27 町会の祭礼の参加について、10年～20年の将来を見据えて、青年部長としてどのように感じていますか。一番近いものを1つ選んでください。(○は1つ)

単一回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 引き続き祭礼に参加できると感じている	11	15.5
2	2. 引き続き祭礼に参加できると思うが、やや不安を感じている	27	38.0
3	3. 引き続き祭礼に参加できると思うが、かなり不安を感じている	23	32.4
4	4. 10年～20年の将来には祭礼に参加できなくなると感じている	5	7.0
5	5. わからない	1	1.4
無回答		4	5.6

■町会規模別クロス集計

		n	%	n	%	n	%
		50未満		50～100未満		100以上	
全体(60)		11		16		33	
1	1. 引き続き祭礼に参加できると感じている	2	18.2%	2	12.5%	8	18.2%
2	2. 引き続き祭礼に参加できると思うが、やや不安を感じている	3	27.3%	7	43.8%	14	48.5%
3	3. 引き続き祭礼に参加できると思うが、かなり不安を感じている	3	27.3%	3	18.8%	7	30.3%
4	4. 10年～20年の将来には祭礼に参加できなくなると感じている	1	9.1%	2	12.5%	9	3.0%
5	5. わからない	0	0.0%	0	0.0%	3	0.0%

問28 青年部長として、祭礼への参加の「負担感」と「喜び・充実感」のバランスについてどのように感じていますか。一番近いものを1つ選んでください。(○は1つ)

単一回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 「喜び・充実感」をかなり強く感じている	17	23.9
2	2. 「喜び・充実感」をやや強く感じている	13	18.3
3	3. 「喜び・充実感」と「負担感」が均衡していると感じている	25	35.2
4	4. 「負担感」をやや強く感じている	5	7.0
5	5. 「負担感」をかなり強く感じている	6	8.5
無回答		5	7.0

【行政との関係についてお伺いします】

問29 青年部等として、町会と行政との協働についてどのように思いますか。最もお考えに近いものについて、それぞれに○をつけてください。

		全体	1 そう思う	2 少しそう	3 あまりそ	4 まったく	無回答
1	(1) 町会と行政との協働をもっと進めるべき	(71)	35 49.3	22 31.0	6 8.5	1 1.4	7 9.9
2	(2) 町会は行政から独立した組織なので 独自に活動すべき	(71)	4 5.6	12 16.9	37 52.1	13 18.3	5 7.0
3	(3) 町会の活動に対して 行政はもっと支援すべき	(71)	34 47.9	21 29.6	9 12.7	0 0.0	7 9.9
4	(4) 行政は町会に頼りすぎている	(71)	4 5.6	25 35.2	29 40.8	6 8.5	7 9.9

問30 青年部等には行政(区、国、都、その他警察や消防など)からさまざまな仕事や役割をお願いしています。これらについて、どの程度負担に感じておられますか。(○は1つ)

単一回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 特に負担を感じていない(ほとんど問題はない)	24	33.8
2	2. 少し負担を感じている(問題は少ない)	34	47.9
3	3. 負担に感じている(問題を感じている)	8	11.3
4	4. 非常に負担に感じている(問題が大きく改善を要する)	1	1.4
無回答		4	5.6

問31 行政から依頼される仕事・役割のうち、特に負担が大きく、仕事量の軽減や実施方法を改善すべきだと思うものは何ですか。特に負担が大きいと感じになるものを3つまで記入してください。（○は3つまで）

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 委員会等会議体の委員の就任・会議への出席	20	28.2
2	2. 推薦依頼を受けたときの調整	16	22.5
3	3. 区主催のイベントへの出席	17	23.9
4	4. 選挙や清掃、防災事業等への参加	6	8.5
5	5. 各種募金の協力・呼び掛け	7	9.9
6	6. 各種調査回答	16	22.5
7	7. その他	1	1.4
8	8. 特に負担は感じていない	24	33.8
無回答		5	7.0

問32 町会の活動に対して行政はどのような支援や協力をすべきだと思いますか。青年部等として特に重要だと思うものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 各種事業実施に対する財政的な支援	38	53.5
2	2. 町会会館や掲示板等の維持管理に対する財政的な支援	10	14.1
3	3. 活動場所（町会会館等）確保のための支援	12	16.9
4	4. チラシやポスター制作時のデザインの支援	4	5.6
5	5. 町会と他の団体や事業者との協力・協働のコーディネート	15	21.1
6	6. 地域課題に関して区からの情報提供や相談などの充実	10	14.1
7	7. 町会法人化の支援	1	1.4
8	8. 行政書士、弁護士、会計士等の専門家による支援	1	1.4
9	9. 専門家による町会運営の課題の整理や、新しい方法の導入支援	5	7.0
10	10. 町会運営の効率化のためのデジタルツールの導入支援・運用支援	11	15.5
11	11. 町会運営のノウハウや事例等を掲載したハンドブックの作成やウェブサイトの構築	1	1.4
12	12. 他町会の取組みや好事例の紹介	9	12.7
13	13. 町会活動支援のための人材紹介支援	5	7.0
14	14. 次世代の担い手の人材育成	13	18.3
15	15. 区への事務手続きの簡略化	16	22.5
16	16. 出張所機能の強化	4	5.6
17	17. その他	8	11.3
18	18. 特に、行政が支援や協力すべきことはない	1	1.4
無回答		5	7.0

問33 町会加入の促進について行政はどのような支援や協力をすべきだと思いますか。青年部等として特に重要だと思うものを

複数回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 町会への加入や活動参加を促進するための財政的な支援	28	39.4
2	2. 町会への加入や活動参加を促進するための物的な支援	13	18.3
3	3. 区の広報などによる、町会参加の機運の醸成	24	33.8
4	4. 町会活動やイベントの広報・周知の支援	14	19.7
5	5. マンションに対して町会活動に対する理解を深めたり協力を努めたりすることのルール化	31	43.7
6	6. マンションに対し町会との連絡先を報告することを義務付けることのルール化	13	18.3
7	7. 一定規模以上のマンション開発に対し、事前に町会加入等について協議をすることのルール化	32	45.1
8	8. その他	6	8.5
9	9. 特に、行政が支援や協力すべきことはない	2	2.8
無回答		5	7.0

問34 千代田区では、町会等が抱えるお困りごと等についてお伺いし、地域の特性や特徴に合わせた支援を実施する予定です。これから実施する支援について、青年部等として一番お考えに近いもの一つを選んでください。（○は1つ）

単一回答		n	%
全体		(71)	
1	1. 実施するなら、すぐにでも活用したい	26	36.6
2	2. どのようなことをやるのかよくわからないので、しばらく様子を見たい	32	45.1
3	3. 特に支援を必要としていないので、活用しない	5	7.0
4	4. その他	3	4.2
無回答		5	7.0

回答町会の地区分布

単一回答		n	%
	全体	(71)	
1	麴町地区	16	22.5
2	富士見地区	4	5.6
3	神保町地区	9	12.7
4	神田公園地区	11	15.5
5	万世橋地区	13	18.3
6	和泉橋地区	18	25.4

資料② アンケート票

【青年部 部長向け】

町会活動に関するアンケート

青年部長の皆様へ

平素より区政にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

青年部長の皆さまには、日頃より、防犯・防災、環境美化、高齢者や子どもの見守りなど、非常に多くの、そして多岐にわたる活動にご尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。

千代田区では、地域コミュニティの中心的な役割を担われている町会が持続可能な運営を継続していくための支援策を検討しております。皆様より、町会が抱えるお困りごとや地域の特性を伺い、施策に反映していきたいと考えております。

お忙しい中、大変恐縮でございますが、ご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和7年7月吉日

千代田区

※ご回答いただいた内容および個人情報 は千代田区の町会運営に関する事項以外に使用することはありません。また、公表にあたっては統計的なものとし、個別の団体名・ご記入者が特定されないようにいたします。また、アンケートの集計・分析にあたりましては、一部、区の委託した事業者が行います。

※ご返信につきましては、同封の返信用封筒にて、8月12日（火）までに千代田区地域振興部コミュニティ総務課あてご郵送くださいますようお願いいたします。

※本アンケートは、紙でのご回答の他、下記二次元コードからもご回答いただけます。



D13165148012

【返送・問い合わせ先】

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1

千代田区地域振興部コミュニティ総務課コミュニティ係

電話 03-5211-4180

FAX 03-3264-7989

いずれも令和7年4月1日現在についてお答えください。

【青年部の組織体制についてお伺いします】

《組織体制全般について》

問1 青年部はどのように活動されていますか。(○は1つ)

1. 青年部またはそれに準ずる部や委員会があり、名簿を作って所属メンバーを把握し、活動している
2. 青年部またはそれに準ずる部や委員会があり、全体名簿はないが、よく参加する人たちの連絡網やLINEグループ等があり、そのメンバーで主に活動している
3. 青年部長はいるが、メンバーは定まっておらず集まった人で手伝っている
4. 青年部の活動をするメンバーが明確に定まっていない
5. 青年部またはこれらに準ずる部や委員会はない
6. その他 ()

問2 青年部またはそれに準ずる部や委員会が定まっている場合は、名称をお答えください。

名称： _____

※ 以降の質問と選択肢では、青年部またはそれに準ずる部や委員会を「青年部等」と表記します。

《青年部長について》

問3 青年部長の年代について教えてください。(○は1つ)

1. 20歳代以下 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代以上

問4 青年部長の現在の職業を教えてください。(○は1つ)

1. 会社員・団体職員 2. 公務員 3. 自 営
4. 無職 5. その他 ()

問5 青年部長として、または青年部として引き受けている行政からの役割はありますか。

1. ある 2. ない 3. わからない

↓
具体的な役職名を教えてください

問 12 青年部等の運営上のお困りごとはありますか。(○はいくつでも)

1. 青年部長の後継者がいない
2. 活動の担い手が固定化している
3. 青年部の構成員が増えない
4. 若年層のメンバーが少ない
5. 会議や打ち合わせ場所の確保が難しい
6. デジタル化など運営の効率化が遅れている
7. メンバーが忙しく、時間の調整や、活動時間の確保が難しい
8. 町会運営の実働を担っているため、やることが多い
9. 手続きなど、平日に稼働しなければならないことが多い
10. 活動記録や運営マニュアルが整備されていない
11. 区から依頼される町会の仕事の増加
12. 新しい取組みややり方などを変えることについての合意形成が難しい
13. 困りごとや課題をどこに相談したらよいかわからない
14. その他 ()
15. 特にない

問 13 青年部等の運営や活動の中で工夫していることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 部の連絡網を作成している(電話・FAX連絡)
2. メール・LINEなどのSNSを活用して連絡をとっている
3. 町会イベントの参加(スタッフとして)の可否などを相互で調整している
4. 特定の人に負担がかからないようにしている
5. 会合の開催時間や方法を、参加しやすいように工夫している
6. 若い人のアイデアや声を取り入れるようにしている
7. 執行部との意見交換を定期的に行っている
8. 一部の活動だけの参加も可能としている
9. 役割を自分で選べるようにしている
10. 他の町会、地域活動の人と交流するようにしている
11. 地区内の町会に加入していない人と交流している
12. その他 ()

問 14 町会運営や活動においてデジタル化したいものはありますか。(○はいくつでも)

1. 町会回覧板
2. 青年部等内の連絡手段
3. 総会や役員会（リモート、資料、会議録）
4. 町会報（配信、過去のアーカイブ）
5. イベントの告知や参加申し込みの受付
6. 町会費の徴収
7. その他（)
8. 特にない

問 15 町会運営におけるデジタル化について課題や困りごとはありますか。

(○はいくつでも)

1. 機器を購入する予算がない
2. 回線使用料やライセンス使用料などの維持費を払う予算がない
3. ホームページやSNSの運用などの外注をする予算がない
4. ノウハウを持った人材がおらず、立ち上げ・開設ができない
5. ホームページやSNSの運用など、デジタル化の取組みが特定の人の負担になっている
6. 会員間でデジタル化への対応能力に差がある
7. 何をデジタル化すればよいのかわからない
8. どんなツールがあるのかわからない
9. デジタル化に取り組んだが、更新などの運営や活用ができていない
10. 困った時やトラブルがあった時に、相談できる人がいない
11. その他（)
12. 特にない

問 16 青年部等の活動が、今後どのようになればよいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 世代を問わず参加できる
2. 自分の得意を活かせる
3. 仕事や暮らしの状況に合わせて参加できる
4. 地区の若い世代のつながりの核となる
5. 地域づくりやまちづくり、地域の課題解決に積極的に関わる
6. 他町会とも活発に交流する
7. デジタルツールを使ったコミュニケーションを活発にする
8. 多様な活動・企業らと連携し、新しい企画を増やす
9. 地区の次世代リーダーが多く輩出される
10. その他（)

【青年部等の地域活動についてお伺いします】

問 17 青年部等としてかかわっているもので該当するものすべてに○をつけてください。
また、「力を入れているもの」と「負担が大きいもの」をそれぞれ3つ選び○をつけてください。

	(該当するものすべて) かかわっているもの	力を入れているもの (○は3つ)	負担が大きいもの (○は3つ)
1. 祭礼			
2. イベント			
3. 仲間作りを目的とした事業、交流サロンなど			
4. 高齢者の見守り活動、敬老活動			
5. 地域で手助けが必要な人の見守り活動			
6. 子どもの安全や見守り活動			
7. 子育て支援に関する活動			
8. 青少年育成に関する活動			
9. 防災訓練			
10. 清掃活動			
11. 防犯、パトロールに関する活動			
12. 緑化や花を植える活動			
13. 赤十字などの募金集め			
14. 新年会など懇親会			
15. 各種広般に関する活動			
16. イベントなどでの買い出し			
17. その他			
()			
()			
()			

問 18 問 17 の活動を通して感じた「よかったこと」を教えてください。

問 19 問 17 でお答えいただいた「青年部等の負担が大きいもの」3 つについて、詳しく教えてください。

問 20 問 17 で挙げている項目以外で、これから実施してみたい取組みや活動内容があれば教えてください。

問 21 町会のイベントや活動などの実施について、課題やお困りごとはありますか。
(○はいくつでも)

1. イベントなどの開催ができない。または、回数が減ってきている
2. イベントの運営スタッフが少ない
3. イベントに参加するゲストが少ない
4. イベントの時だけ参加する人が多く、運営の負担となっている
5. イベントのコストが負担になっている
6. イベントの実施のみで終わっていて振り返りができていない
7. イベントの時だけ手伝ってもらうなどの柔軟な運営ができていない
8. イベントの案内や情報発信が難しい、またはPRしたいがツールがない
9. ポスター・チラシなどをデザイン（作成）できる人がいない
10. イベントを実施する場所が不足している
11. 人数が少ない中で運営しているので、負担が大きい
12. 役割が固定化しており楽しめない
13. 道路使用や食品衛生等の申請手続きが大変である
14. 毎年同じことを実施しマンネリ化している
15. 企画や調整できる人がいない
16. 記録（写真や動画）する人がいない
17. アンケートなどができておらず、参加者のニーズがわからない
18. クレームなどの対応が大変である
19. その他（)
20. 特に、課題や困っていることはない

問 22 イベントの企画・運営や今後の青年部の活動において、連携を深めたい団体はありますか（「その他」は、行政機関を除きます）。（○はいくつでも）

1. 商店街（商店会）
2. マンションの管理組合・自治会
3. 小中学校、PTA
4. 大学、高等学校、専門学校（学生を含む）
5. 社会福祉協議会
6. 消防団
7. 町会内の企業・事業所
8. NPO
9. ボランティア団体
10. 地縁によらない活動団体
11. その他（)

【町会活動の課題やこれからについてお伺いします】

≪地域課題について≫

問 23 現在、町会において、あなたが考える、特に重要な地域課題はどのようなことですか。特に重要だと思うものを3つ選んでください。(○は3つまで)

1. ひとり暮らし高齢者
2. 地域の安全対策や防犯
3. 地域の防災
4. 災害時の要援護者支援対策
5. 子どもや青少年の育成
6. ごみの出し方や資源の持ち去りなど
7. 来街者のポイ捨て対策など地域の美化
8. 空き家の増加や空き家対策
9. 住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化
10. 活動への協力・参加が少なく町会に対するニーズに対応できないこと
11. マンションに関する問題
12. 外国人住民とのコミュニケーション
13. 祭礼文化の継承
14. その他 ()

問 24 町会の役割、存在意義として大切なことは何だとお考えですか。

特に大切だとお考えのことを3つまで選んでください。(○は3つまで)

1. 地域のつながりの基盤となること
2. 会員の親睦を深めること
3. 伝統を守り、次世代につなげること
4. 地域が盛り上がる行事・イベントを行うこと
5. 地域の安全を守ること
6. 災害への備え、災害への対応を強化すること
7. 暮らしやすい環境づくりを進めること
8. 住民と行政との連携を進めること
9. 地域内の調整役となること
10. 地域の魅力・価値を高めること
11. 祭礼文化を継承していくこと
12. その他 ()

《町会活動のこれからについて》

問 25 青年部等として、これからの町会についてどのようにお考えですか。一番近いものを1つ選んでください。(○は1つ)

1. 町会内地域の全員参加が理想なので、全員参加を目指し町会をよりよいものにしたい
2. 町会には、新しい人の中でも共感や賛同してくれる人に参加してもらいたい。新しい人への働きかけを強化し、そうした人の参加を促し、会員数を増やしたい
3. 現状の活動や規模を維持するため、効率化や役割分担などの運営を見直したうえで、新しい人の働きかけをしていきたい
4. 現状の中で、加入者減や現状の活動を維持できないのは仕方ないと思っている。これから縮小しながらも、なるべく運営が持続できるようにしたい
5. 現状の中で、加入者減や現状維持できずに、このまま町会活動が縮小していくのもいたしかたない

《祭礼文化の継承について》

問 26 祭礼は地域コミュニティの求心力であり、地域コミュニティの核である町会にとっても重要ですが、祭礼文化を継承していくにあたり、課題となっていることは何ですか。青年部等として特に課題に感じるものを3つまでお選びください。(○は3つまで)

1. 神輿の保管場所がない
2. 神酒所や御仮屋の場所がない
3. 町会内でお祭りの段取りを知っている者が少なくなっている、またはいない
4. 町会内に神輿の担ぎ手が少ない、またはいない
5. 役割を分担できる人が少ない、またはいない
6. サポートしてくれる人・団体等が少ない、またはいない
7. 名目が「祭礼」だと企業の協力が得られない
8. 祭礼文化を継承する次の世代が少ない、またはいない
9. 祭礼文化の継承に関わる装束や飾りつけ等に経費がかかる
10. その他 ()
11. 特に、課題に感じることはない

問 27 町会の祭礼の参加について、10年～20年の将来を見据えて、青年部長としてどのように感じていますか。一番近いものを1つ選んでください。(○は1つ)

1. 引き続き祭礼に参加できると感じている
2. 引き続き祭礼に参加できると思うが、やや不安を感じている
3. 引き続き祭礼に参加できると思うが、かなり不安を感じている
4. 10年～20年の将来には祭礼に参加できなくなると感じている
5. わからない

問 28 青年部長として、祭礼への参加の「負担感」と「喜び・充実感」のバランスについてどのように感じていますか。一番近いものを1つ選んでください。(○は1つ)

1. 「喜び・充実感」をかなり強く感じている
2. 「喜び・充実感」をやや強く感じている
3. 「喜び・充実感」と「負担感」が均衡していると感じている
4. 「負担感」をやや強く感じている
5. 「負担感」をかなり強く感じている

【行政との関係についてお伺いします】

問 29 青年部等として、町会と行政との協働についてどのように思いますか。最もお考えに近いものについて、それぞれに○をつけてください。

	それぞれ該当するものに○			
	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
(1) 町会と行政との協働をもっと進めるべき				
(2) 町会は行政から独立した組織なので独自に活動すべき				
(3) 町会の活動に対して行政はもっと支援すべき				
(4) 行政は町会に頼りすぎている				

問 30 青年部等には行政（区、国、都、その他警察や消防など）からさまざまな仕事や役割をお願いしています。これらについて、どの程度負担に感じておられますか。(○は1つ)

1. 特に負担を感じていない（ほとんど問題はない）
2. 少し負担を感じている（問題は少ない）
3. 負担に感じている（問題を感じている）
4. 非常に負担に感じている（問題が大きく改善を要する）

問 31 行政から依頼される仕事・役割のうち、特に負担が大きく、仕事量の軽減や実施方法を改善すべきだと思うものは何ですか。特に負担が大きいとお感じになるものを3つまで記入してください。(○は3つまで)

1. 委員会等会議体の委員の就任・会議への出席
2. 推薦依頼を受けたときの調整
3. 区主催のイベントへの出席
4. 選挙や清掃、防災事業等への参加
5. 各種募金の協力・呼び掛け
6. 各種調査回答
7. その他 ()
8. 特に負担は感じていない

問 30 町会の活動や運営に対して行政はどのような支援や協力をすべきだと思いますか。青年部等として特に重要だと思うものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

1. 各種事業実施に対する財政的な支援
2. 町会会館や掲示板等の維持管理に対する財政的な支援
3. 活動場所(町会会館等)確保のための支援
4. チラシやポスター制作時のデザインの支援
5. 町会と他の団体や事業者との協力・協働のコーディネート
6. 地域課題に関して区からの情報提供や相談などの充実
7. 町会法人化の支援
8. 行政書士、弁護士、会計士等の専門家による支援
9. 専門家による町会運営の課題の整理や、新しい方法の導入支援
10. 町会運営の効率化のためのデジタルツールの導入支援・運用支援
11. 町会運営のノウハウや事例等を掲載したハンドブックの作成やウェブサイトの構築
12. 他町会の取組みや好事例の紹介
13. 町会活動支援のための人材紹介支援
14. 次世代の担い手の人材育成
15. 区への事務手続きの簡略化
16. 出張所機能の強化
17. その他 ()
18. 特に、行政が支援や協力すべきことはない

問 32 町会加入の促進について行政はどのような支援や協力をすべきだと思いますか。青年部等として特に重要だと思うものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

1. 町会への加入や活動参加を促進するための財政的な支援
2. 町会への加入や活動参加を促進するための物的な支援
3. 区の広報などによる、町会参加の機運の醸成
4. 町会活動やイベントの広報・周知の支援
5. マンションに対して町会活動に対する理解を深めたり協力を努めたりすることのルール化
6. マンションに対し町会との連絡先を報告することを義務付けることのルール化
7. 一定規模以上のマンション開発に対し、事前に町会加入等について協議をすることのルール化
8. その他
()
9. 特に、行政が支援や協力すべきことはない

問 33 千代田区では、町会等が抱えるお困りごと等についてお伺いし、地域の特性や特徴に合わせた支援を実施する予定です。これから実施する支援について、青年部等として一番お考えに近いものを一つ選んでください。(○は1つ)

1. 実施するなら、すぐにでも活用したい
2. どのようなことをやるのかよくわからないので、しばらく様子を見たい
3. 特に支援を必要としていないので、活用しない
4. その他()

問 34 青年部の活動の現状、課題、今後の活性化に向けて必要だと思うこと、必要な支援、また、町会の全般について、現状やこれから、必要な行政の支援策について、お考えのことをご記入ください。(自由記述)

本アンケートの後、町会活動の現状をより詳しく確認させていただくため、委託事業者によるヒアリングを予定しております。今後の支援内容を検討する上で、貴重なご意見として反映させていただきます。ヒアリングにご協力いただける場合は□に✔をご記入ください。

※「ヒアリングに協力します」とご回答いただいた方が多数いらっしゃった場合は、人数や状況に応じて対象者を選定させていただきます。対象となった方には、後日、区から個別にご連絡いたします。

□ヒアリングに協力します

最後にご回答された方の情報をご記入ください。

町会名	
お名前	
電話番号	
メールアドレス	

アンケートは以上です。

ご多忙の中、ご協力いただきありがとうございますございました。

